

協働のまちづくりに関する市民意識調査

調査報告書

平成 28 年 2 月

戸 田 市

目 次

第1章 調査の概要

1 調査目的	1
2 調査の設計	1
3 回収結果	1
4 地区区分	1
5 報告書の表記について	2

第2章 調査結果の分析

1. 回答者自身について.....	3
2. 地域への愛着.....	7
3. 地域活動・市民活動.....	12
4. 「戸田市自治基本条例」について.....	23
5. 協働について.....	24
6. 参加・参画について.....	28
7. 情報共有について.....	32
8. 協議（話し合い）について.....	36
9. その他.....	41
10. 自由回答.....	42

調査票

協働のまちづくりに関する市民意識調査調査票.....	47
----------------------------	----

第1章 調査の概要

1 調査目的

この調査は、「戸田市自治基本条例」の制定に伴い、市民の協働の認知度や地域への愛着、市民活動等に対する理解など、協働によるまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 戸市内全域
- (2) 調査対象 平成27年10月1日現在、市内に在住する16歳以上の男女
- (3) 対象人数 2,000人（男女各1,000人）
- (4) 抽出方法 戸田市住民基本台帳（外国人を含む）からの等間隔無作為抽出
- (5) 調査時期 平成27年11月11日（水）～11月30日（月）（返送期日）
- (6) 調査方法 郵送による配付・回収

3 回収結果

標本数	回収数	回収率
2,000 標本	785 件	39.3%

4 地区区分

地区	
下戸田地区	喜沢1・2丁目、中町1・2丁目、下戸田1・2丁目、喜沢南1・2丁目、下前1・2丁目、川岸1～3丁目
上戸田地区	上戸田1～5丁目、大字上戸田、本町1～5丁目、南町、戸田公園
新曽地区	大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目
笹目地区	笹目1～8丁目、早瀬1・2丁目、笹目北町、笹目南町
美女木地区	美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木

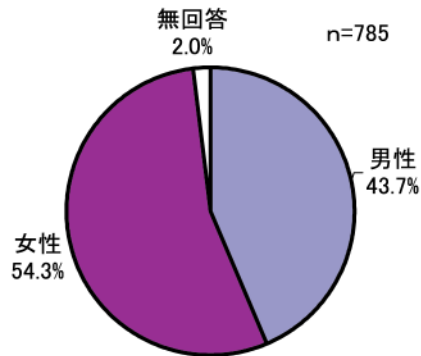
5 報告書の表記について

- (1) 調査結果の比率はすべて百分比 (%) で表しており、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- (3) グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表す。
- (4) クロス集計では、例えば性別の場合、性別を回答していない人がいるため、男性と女性の合計が「全体」にならない。年齢や他の設問間クロス集計においても同様となる。また、表側項目の無回答を除いて集計しているため、各項目の「n」の合計が「全体」と一致しない場合がある。
- (5) 質問の選択肢は意味を損なわない程度に省略した表現を用いていることがある。
- (6) 標本数 (n) が20未満の項目についてはコメントをしない。

第2章 調査結果の分析

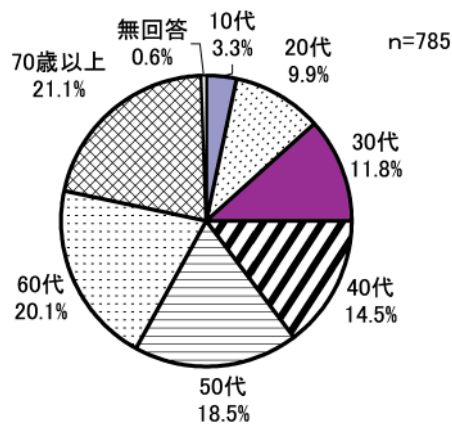
1 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。(〇はひとつ)



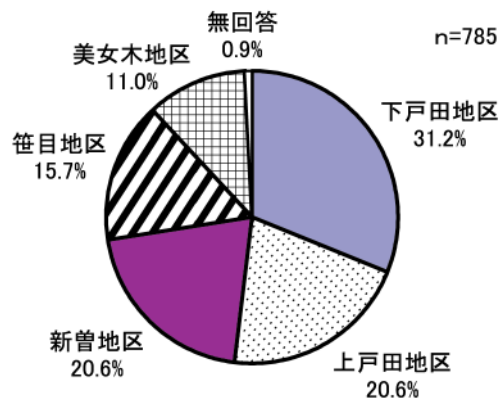
性別は、男性が43.7%、女性が54.3%となっており、女性が男性を10.6ポイント上回っています。

問2 あなたの年齢（平成27年11月1日現在）をお答えください。(〇はひとつ)



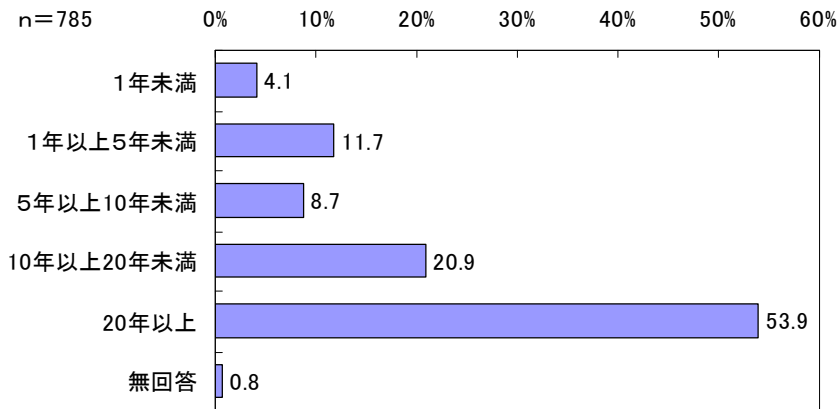
年代は、70歳以上が21.1%で最も高く、年齢が下がるにつれ割合が減少しています。

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(〇はひとつ)



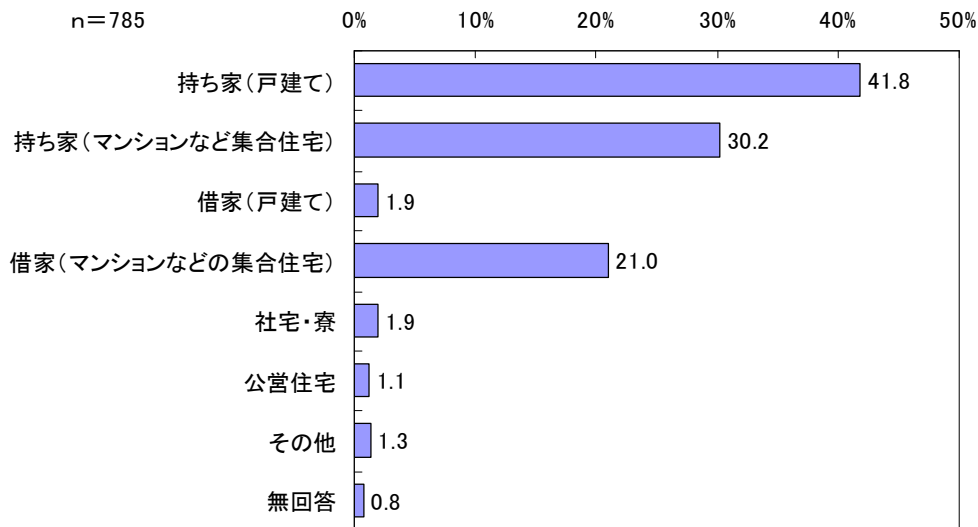
居住地区は、下戸田地区が31.2%と3割を超え最も高く、上戸田地区と新曽地区がともに20.6%と2割を占め続いており、次いで笹目地区15.7%、美女木地区11.0%の順になっています。

問4 あなたは戸田市に住んで何年になりますか。(〇はひとつ)



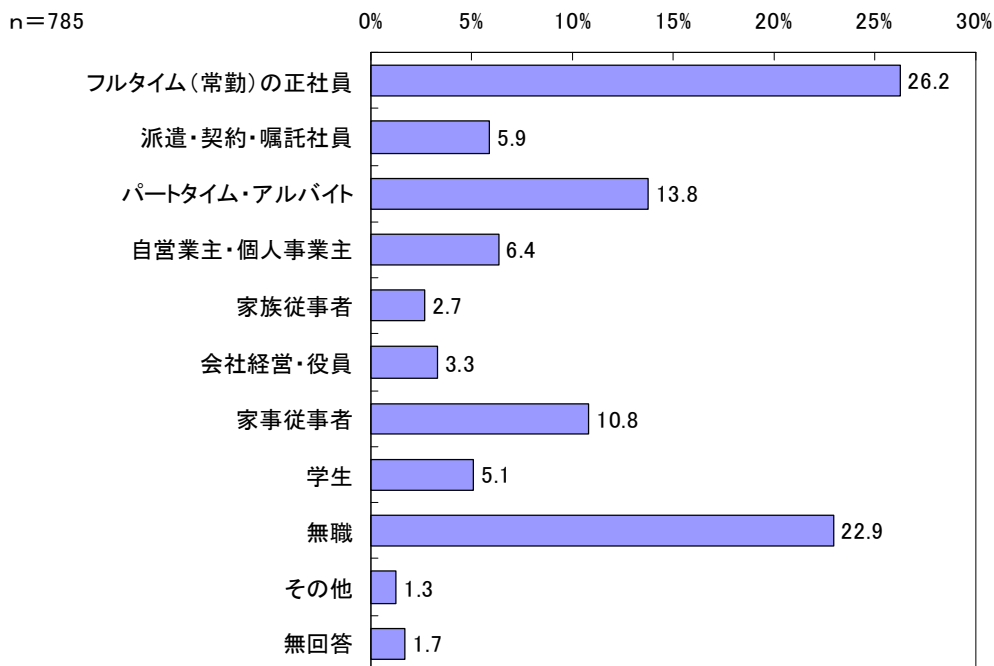
居住年数は、20年以上が53.9%と全体の5割を超えて最も高く、次いで10年以上20年未満が20.9%、1年以上5年未満が11.7%、5年以上10年未満が8.7%、1年未満が4.1%と続いています。

問5 あなたのお住まいの種類をお答えください。(〇はひとつ)



住居の種類は、持ち家（戸建て）が 41.8%と 4 割を超えて最も高く、次いで持ち家（マンションなど集合住宅） 30.2%が 3 割となっており、二つを合わせると 72.0%と持ち家の割合が 7 割を超えています。また借家（マンションなど集合住宅） 21.0%が 2 割で続いています。

問6 あなたのご職業をお答えください。(〇はひとつ)



職業は、フルタイム（常勤）の正社員が 26.2%と最も高く、次いで無職 22.9%、パート・アルバイト 13.8%、家事従事者 10.8%、自営業主・個人事業主 6.4%の順に続いています。

■クロス集計：職業×年代

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

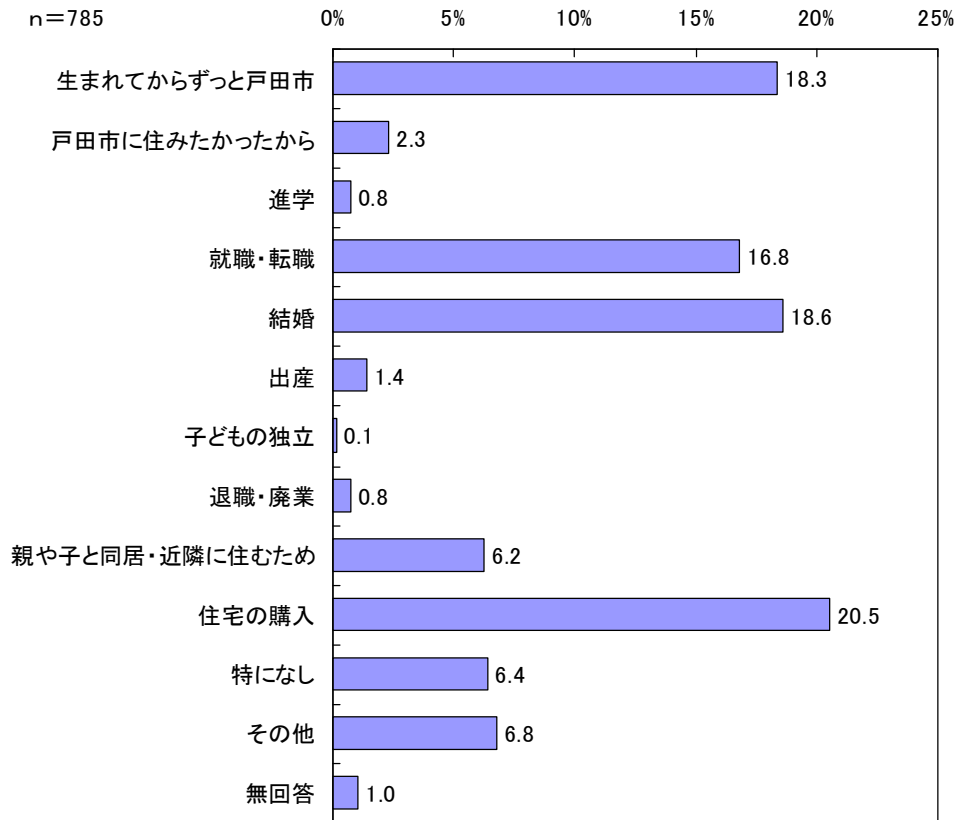
	合計	問2 年代							無回答
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
全体	785 100.0	26 3.3	78 9.9	93 11.8	114 14.5	145 18.5	158 20.1	166 21.1	5 0.6
フルタイム（常勤）の正社員	206 100.0	0 0.0	45 21.8	43 20.9	47 22.8	57 27.7	12 5.8	2 1.0	0 0.0
派遣・契約・嘱託社員	46 100.0	0 0.0	5 10.9	9 19.6	10 21.7	7 15.2	14 30.4	1 2.2	0 0.0
パートタイム・アルバイト	108 100.0	2 1.9	6 5.6	11 10.2	25 23.1	27 25.0	33 30.6	4 3.7	0 0.0
自営業主・個人事業主	50 100.0	0 0.0	0 0.0	3 6.0	5 10.0	14 28.0	11 22.0	17 34.0	0 0.0
家族従事者	21 100.0	0 0.0	0 0.0	4 19.0	1 4.8	4 19.0	6 28.6	6 28.6	0 0.0
会社経営・役員	26 100.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	4 15.4	6 23.1	5 19.2	9 34.6	0 0.0
家事従事者	85 100.0	0 0.0	2 2.4	17 20.0	15 17.6	12 14.1	25 29.4	14 16.5	0 0.0
学生	40 100.0	23 57.5	17 42.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無職	180 100.0	0 0.0	2 1.1	3 1.7	5 2.8	13 7.2	49 27.2	108 60.0	0 0.0
その他	10 100.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0

年代を職業別に見ると、フルタイム（常勤）の正社員は20～50代にかけてそれぞれ2割台となっています。自営業主・個人事業主は50～70歳以上の高い年代が2割以上となっており、一方で学生は10～20代ですべての割合を占めています。無職は年代が上がるにつれて割合も高くなっていく傾向にあり、60代27.2%と70歳以上60.0%で87.2%と、全体の9割近くを占めています。

2

地域への愛着

問7 あなたが戸田市に移転した主なきっかけをお答えください。(〇はひとつ)



回答者が戸田市に移転した主なきっかけは、「住宅の購入」が 20.5%と 2割を占め最も高く、次いで「結婚」18.6%と「生まれてからずっと戸田市」18.3%がほぼ同割合となっており、「就職・転職」16.8%と続いています。

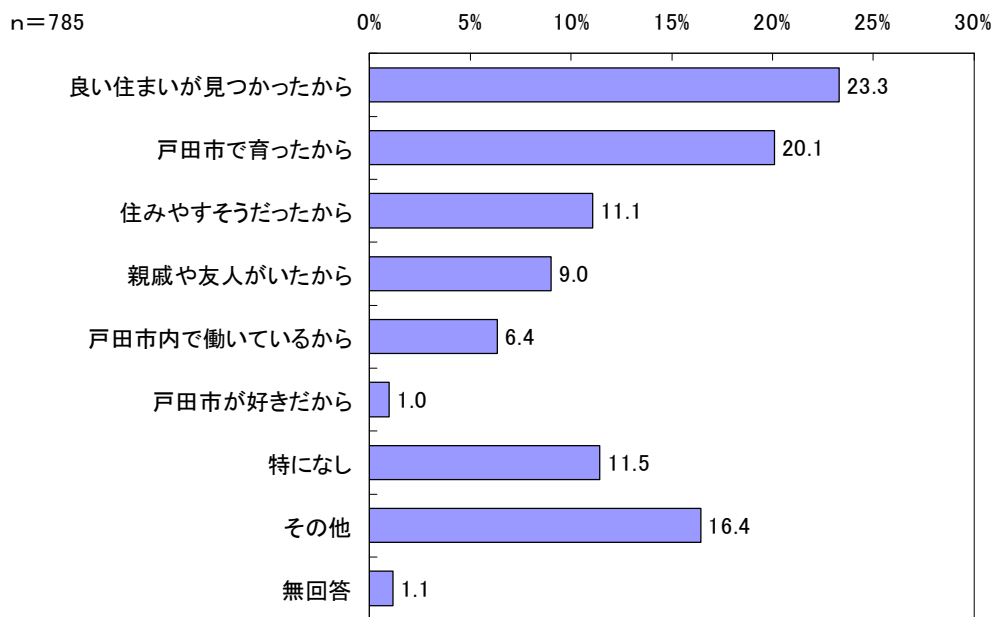
■クロス集計：性別×移転のきっかけ

※上段：回答者数(人)、下段：構成比(%)

	合計	問7 移転のきっかけ												
		生まれてからずっと戸田市	戸田市に住みたかったから	進学	就職・転職	結婚	出産	子どもの独立	退職・廃業	親や子と同居・近隣に住むため	住宅の購入	特になし	その他	無回答
全体	785 100.0	144 18.3	18 2.3	6 0.8	132 16.8	146 18.6	11 1.4	1 0.1	6 0.8	49 6.2	161 20.5	50 6.4	53 6.8	8 1.0
男性	343 100.0	70 20.4	10 2.9	2 0.6	65 19.0	35 10.2	5 1.5	0 0.0	5 1.5	24 7.0	80 23.3	27 7.9	19 5.5	1 0.3
女性	426 100.0	73 17.1	7 1.6	4 0.9	67 15.7	109 25.6	6 1.4	1 0.2	1 0.2	24 5.6	78 18.3	21 4.9	34 8.0	1 0.2

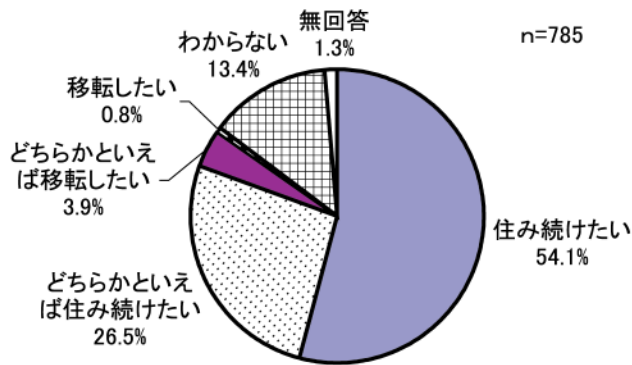
男女別に見ると、特に「結婚」では男性が 10.2%、女性 25.6%と、女性が男性を 15.4 ポイント上回っており、戸田市に移転した主なきっかけとしても男性は「住宅の購入」23.3%が最も高いのに対し、女性は「結婚」25.6%が最も高くなっています。

問8 あなたが戸田市に住もうと思った主な理由をお答えください。(〇はひとつ)



戸田市に住もうと思った主な理由は、「良い住まいが見つかったから」が23.3%、「戸田市で育ったから」が20.1%と2割を超えて高くなっています。次いで「特になし」11.5%と「住みやすそうだったから」11.1%がほぼ同割合で続いています。

問9 あなたはこれからも戸田市に住み続けたいと思いますか。(○はひとつ)



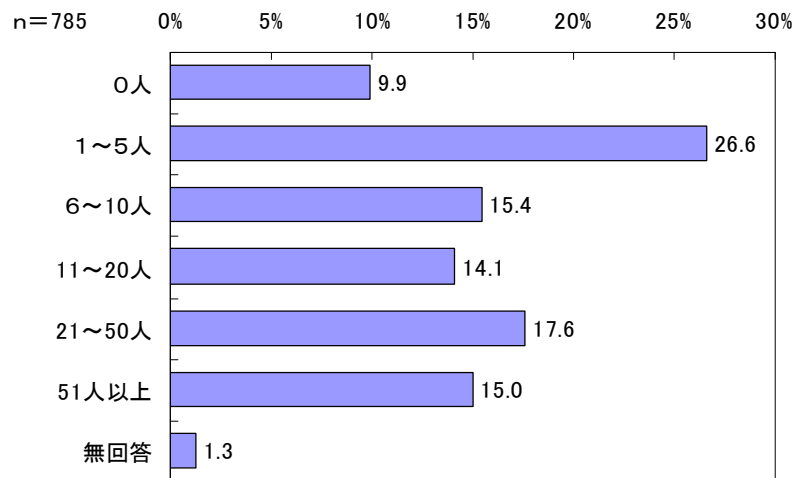
戸田市への定住意向は、「住み続けたい」が54.1%と全体の半数を超えて最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」26.5%と合わせた『住み続けたい』は80.6%と全体の8割を占めています。一方、「どちらかといえば移転したい」3.9%と「移転したい」0.8%を合わせた『移転したい』は4.7%にとどまっており、『住み続けたい』が『移転したい』を75.9ポイント圧倒的に上回っています。

■クロス集計：居住地区×定住意向 ※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問9 定住意向					
		住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば移転したい	移転したい	わからない	無回答
全体	785	425	208	31	6	105	10
	100.0	54.1	26.5	3.9	0.8	13.4	1.3
下戸田地区	245	140	69	8	2	26	0
	100.0	57.1	28.2	3.3	0.8	10.6	0.0
上戸田地区	162	88	40	5	2	26	1
	100.0	54.3	24.7	3.1	1.2	16.0	0.6
新曽地区	162	78	53	11	1	18	1
	100.0	48.1	32.7	6.8	0.6	11.1	0.6
笹目地区	123	79	21	2	1	20	0
	100.0	64.2	17.1	1.6	0.8	16.3	0.0
美女木地区	86	40	24	5	0	15	2
	100.0	46.5	27.9	5.8	0.0	17.4	2.3

居住地区別では、「どちらかといえば移転したい」が新曽地区で6.8%、美女木地区で5.8%と、全体の3.9%の割合に比べやや高くなっています。

問10 あなたは戸田市内に友人・知人がどれくらいいますか。(〇はひとつ)



戸田市内の友人・知人の数は、「1～5人」が26.6%と最も高く、次いで「21～50人」17.6%、「6～10人」15.4%、「51人以上」15.0%、「11～20人」14.1%の順に続いて、「0人」は9.9%で最も低くなっています。

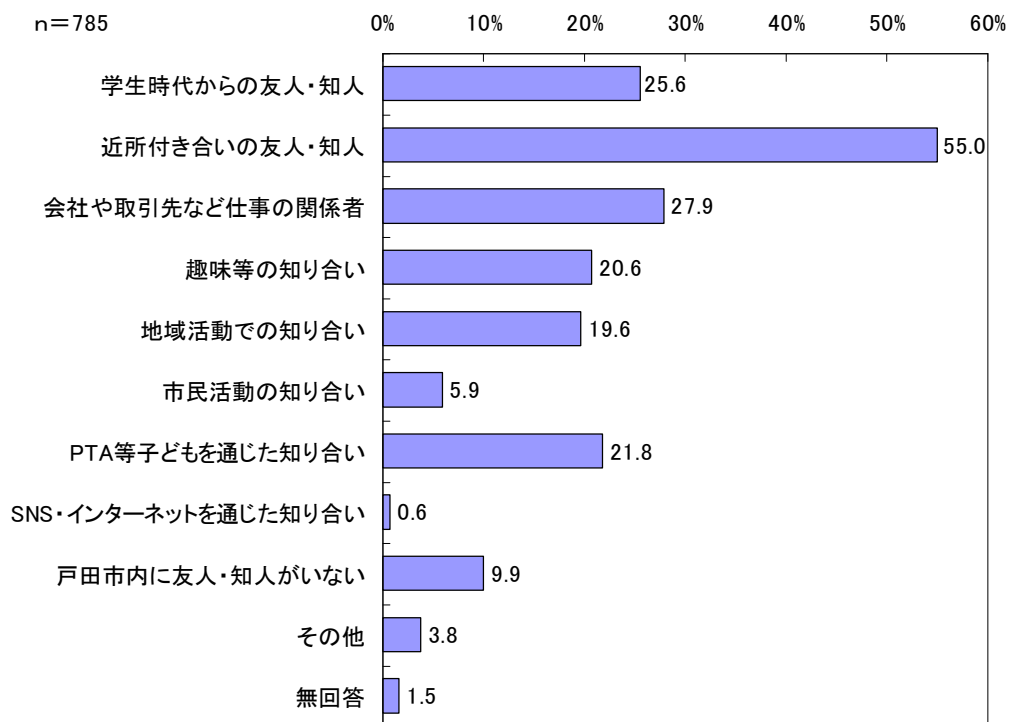
■クロス集計：居住地区×市内の友人・知人数

※上段：回答者数(人)、下段：構成比(%)

	合計	問10 市内の友人・知人数						
		0人	1～5人	6～10人	11～20人	21～50人	51人以上	無回答
全体	785 100.0	78 9.9	209 26.6	121 15.4	111 14.1	138 17.6	118 15.0	10 1.3
下戸田地区	245 100.0	22 9.0	66 26.9	50 20.4	31 12.7	37 15.1	38 15.5	1 0.4
上戸田地区	162 100.0	22 13.6	34 21.0	28 17.3	16 9.9	31 19.1	29 17.9	2 1.2
新曽地区	162 100.0	15 9.3	59 36.4	14 8.6	28 17.3	29 17.9	17 10.5	0 0.0
笹目地区	123 100.0	8 6.5	33 26.8	15 12.2	21 17.1	27 22.0	19 15.4	0 0.0
美女木地区	86 100.0	10 11.6	17 19.8	14 16.3	15 17.4	14 16.3	15 17.4	1 1.2

居住地区別では、「0人」は上戸田地区13.6%と美女木地区11.6%で10%を超えています。また、「51人以上」では新曽地区が10.5%と他の地区に比べ割合が低くなっています。

問 11 問 10 であげた友人・知人とあなたはどのような関係ですか。(〇はいくつでも)



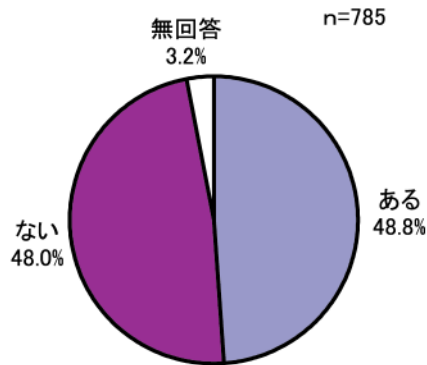
問 10 であげた友人・知人とはどのような関係なのかについて、「近所付き合いの友人・知人」が 55.0%と 5 割を超えて最も高く、次いで「会社や取引先など仕事の関係者」27.9%、「学生時代からの友人・知人」25.6%、「PTA等子どもを通じた知り合い」21.8%、「趣味等の知り合い」20.6%の順に 2 割台が続いています。

また、「地域活動での知り合い」が 19.6%に対し、「市民活動の知り合い」が 5.9%となっており、「地域活動での知り合い」の割合が 13.7 ポイント上回っています。

3

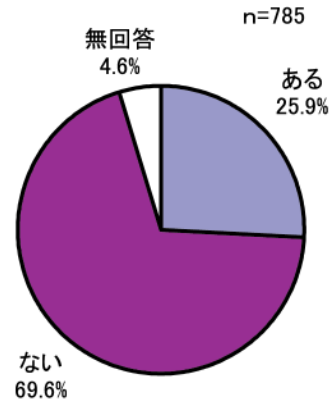
地域活動・市民活動

問 12 あなたは地域活動に参加したことがありますか。(〇はひとつ)



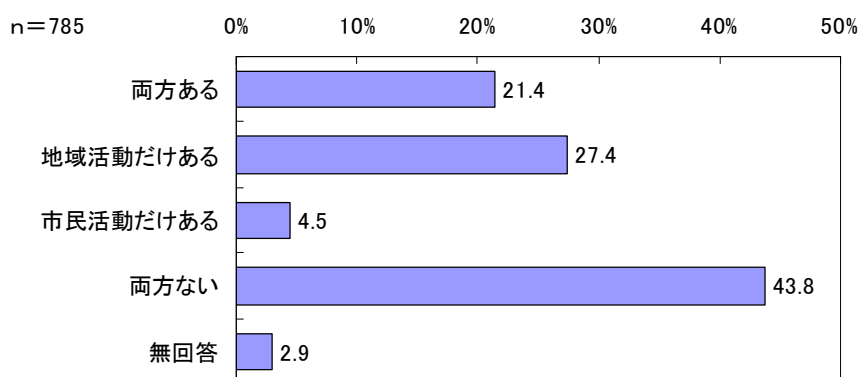
地域活動への参加経験は、「ある」が48.8%、「ない」が48.0%と、ほぼ同じ割合になっており、「無回答」を除く回答者の約半数が地域活動に参加したことがあると答えています。

問 13 あなたは市民活動に参加したことがありますか。(〇はひとつ)



市民活動への参加経験は、「ある」が25.9%、「ない」が69.6%と、「ない」が「ある」を43.7ポイント大きく上回っており、市民活動に参加したことがある割合は回答者の約4分の1にとどまっています。

◆地域活動及び市民活動の参加経験



地域活動及び市民活動の参加経験が「両方ある」割合は21.4%と全体の約2割となっており、「地域活動だけある」は27.4%、「市民活動だけある」は4.5%となっています。「両方ない」は43.8%と4割を超えています。

■クロス集計：性別、年齢×地域活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問12 地域活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	383 48.8	377 48.0	25 3.2
男性	343 100.0	150 43.7	179 52.2	14 4.1
女性	426 100.0	227 53.3	189 44.4	10 2.3
10代	26 100.0	15 57.7	11 42.3	0 0.0
20代	78 100.0	19 24.4	56 71.8	3 3.8
30代	93 100.0	20 21.5	71 76.3	2 2.2
40代	114 100.0	50 43.9	62 54.4	2 1.8
50代	145 100.0	84 57.9	57 39.3	4 2.8
60代	158 100.0	85 53.8	67 42.4	6 3.8
70歳以上	166 100.0	108 65.1	51 30.7	7 4.2

男女別では、地域活動に参加したことが「ある」の割合は女性53.3%が男性43.7%を9.6ポイント上回っています。

年代別では、20～40代にかけて「ない」の割合が「ある」を上回っており、その他の年代では「ある」が「ない」を上回っています。

■クロス集計：性別、年齢×市民活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問13 市民活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	203 25.9	546 69.6	36 4.6
男性	343 100.0	80 23.3	242 70.6	21 6.1
女性	426 100.0	122 28.6	291 68.3	13 3.1
10代	26 100.0	2 7.7	24 92.3	0 0.0
20代	78 100.0	10 12.8	65 83.3	3 3.8
30代	93 100.0	14 15.1	77 82.8	2 2.2
40代	114 100.0	23 20.2	88 77.2	3 2.6
50代	145 100.0	38 26.2	101 69.7	6 4.1
60代	158 100.0	48 30.4	104 65.8	6 3.8
70歳以上	166 100.0	68 41.0	83 50.0	15 9.0

男女別では、男女ともに市民活動に参加したことが「ある」が2割台、「ない」が7割前後となっています。

年代別では、年代が上がるにつれて「ある」の割合が高くなる傾向にあり、70歳以上では41.0%と4割を超えて高くなっています。

■クロス集計：居住地区×地域活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問12 地域活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	383 48.8	377 48.0	25 3.2
下戸田地区	245 100.0	119 48.6	114 46.5	12 4.9
上戸田地区	162 100.0	73 45.1	84 51.9	5 3.1
新曽地区	162 100.0	66 40.7	93 57.4	3 1.9
笹目地区	123 100.0	76 61.8	45 36.6	2 1.6
美女木地区	86 100.0	47 54.7	37 43.0	2 2.3

居住地区別では、地域活動に参加したことの「ある」割合は笹目地区61.8%が6割を超えて最も高く、「ない」割合を25.2ポイント大きく上回っています。また下戸田地区と美女木地区でも「ある」割合が「ない」を上回っています。

■クロス集計：居住地区×市民活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問13 市民活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	203 25.9	546 69.6	36 4.6
下戸田地区	245 100.0	68 27.8	162 66.1	15 6.1
上戸田地区	162 100.0	43 26.5	112 69.1	7 4.3
新曽地区	162 100.0	32 19.8	125 77.2	5 3.1
笹目地区	123 100.0	36 29.3	82 66.7	5 4.1
美女木地区	86 100.0	24 27.9	59 68.6	3 3.5

居住地区別では、市民活動に参加したことの「ある」割合は新曽地区が19.8%で2割を切って他の地区よりも低く、「ない」割合も77.2%と7割を超えて高くなっています。その他の地区は全体とあまり変わらない割合となっています。

■クロス集計：居住年数、住まい×地域活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問12 地域活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	383 48.8	377 48.0	25 3.2
1年未満	32 100.0	3 9.4	27 84.4	2 6.3
1年以上5年未満	92 100.0	13 14.1	74 80.4	5 5.4
5年以上10年未満	68 100.0	19 27.9	47 69.1	2 2.9
10年以上20年未満	164 100.0	86 52.4	76 46.3	2 1.2
20年以上	423 100.0	259 61.2	151 35.7	13 3.1
持ち家（戸建て）	328 100.0	225 68.6	94 28.7	9 2.7
持ち家（マンション など集合住宅）	237 100.0	98 41.4	133 56.1	6 2.5
借家（戸建て）	15 100.0	8 53.3	5 33.3	2 13.3
借家（マンション などの集合住宅）	165 100.0	37 22.4	121 73.3	7 4.2
社宅・寮	15 100.0	3 20.0	12 80.0	0 0.0
公営住宅	9 100.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0
その他	10 100.0	3 30.0	7 70.0	0 0.0

居住年数別では、地域活動に参加したことの「ある」割合は年数が長くなるにつれて高くなる傾向にあり、特に10年以上では「ない」を上回り5割を超えて高くなっています。

住まい別では、「ある」の割合は持ち家（戸建て）で68.6%と7割近くを占めて高くなっています。一方、マンションなどの集合住宅では持ち家、借家ともに「ない」割合が「ある」を上回っています。

■クロス集計：居住年数、住まい×市民活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問13 市民活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	203 25.9	546 69.6	36 4.6
1年未満	32 100.0	3 9.4	28 87.5	1 3.1
1年以上5年未満	92 100.0	11 12.0	75 81.5	6 6.5
5年以上10年未満	68 100.0	13 19.1	52 76.5	3 4.4
10年以上20年未満	164 100.0	30 18.3	130 79.3	4 2.4
20年以上	423 100.0	146 34.5	257 60.8	20 4.7
持ち家（戸建て）	328 100.0	117 35.7	195 59.5	16 4.9
持ち家（マンション など集合住宅）	237 100.0	50 21.1	180 75.9	7 3.0
借家（戸建て）	15 100.0	5 33.3	8 53.3	2 13.3
借家（マンション などの集合住宅）	165 100.0	23 13.9	132 80.0	10 6.1
社宅・寮	15 100.0	2 13.3	13 86.7	0 0.0
公営住宅	9 100.0	4 44.4	5 55.6	0 0.0
その他	10 100.0	2 20.0	8 80.0	0 0.0

居住年数別では、市民活動に参加したことの「ある」割合は年数が長くなるにつれて高くなる傾向にあり、20年以上では34.5%と3割を超えて最も高くなっています。

住まい別では、持ち家、借家に関わらず戸建てで「ある」の割合が3割を超えて高く、マンションなどの集合住宅では「ない」の割合が7割を超えて高くなっています。

■クロス集計：友人・知人の数×地域活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問12 地域活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	383 48.8	377 48.0	25 3.2
0人	78 100.0	6 7.7	69 88.5	3 3.8
1～5人	209 100.0	61 29.2	143 68.4	5 2.4
6～10人	121 100.0	61 50.4	55 45.5	5 4.1
11～20人	111 100.0	69 62.2	36 32.4	6 5.4
21～50人	138 100.0	96 69.6	39 28.3	3 2.2
51人以上	118 100.0	85 72.0	31 26.3	2 1.7

市内の友人・知人数別では、地域活動に参加したことの「ある」割合は友人・知人が多くなるにつれて高くなる傾向にあり、特に21人以上からは「ある」が7割前後に達しています。

一方、友人・知人が少ないと地域活動への参加が「ない」割合が高くなっています。

■クロス集計：友人・知人の数×市民活動参加の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

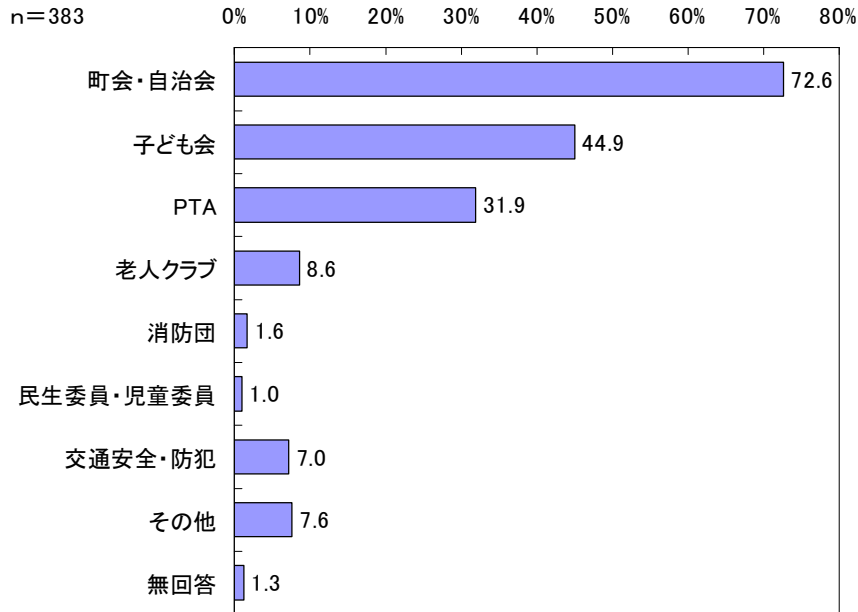
	合計	問13 市民活動参加の有無		
		ある	ない	無回答
全体	785 100.0	203 25.9	546 69.6	36 4.6
0人	78 100.0	2 2.6	73 93.6	3 3.8
1～5人	209 100.0	23 11.0	178 85.2	8 3.8
6～10人	121 100.0	33 27.3	78 64.5	10 8.3
11～20人	111 100.0	40 36.0	64 57.7	7 6.3
21～50人	138 100.0	59 42.8	76 55.1	3 2.2
51人以上	118 100.0	45 38.1	70 59.3	3 2.5

市内の友人・知人数別では、市民活動に参加したことの「ある」割合は友人・知人が多くなるにつれて高くなる傾向にあり、21～50人で42.8%と最も高くなっています。

一方、友人・知人が少ないと市民活動への参加が「ない」割合が高くなっており、0人では93.6%と9割を超えています。

(問 12 地域活動参加の有無で「1 ある」と回答された方のみお答えください)

問 12-1 あなたが参加したことがある地域活動の分野をお答えください。(〇はいくつでも)



地域活動に参加したことがある回答者の地域活動の分野は、「町会・自治会」が 72.6%と他の項目に比べ最も高く 7割を超えています。次いで「子ども会」44.9%、「PTA」31.9%と続いています。

■クロス集計：性別、年齢×参加した地域活動

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

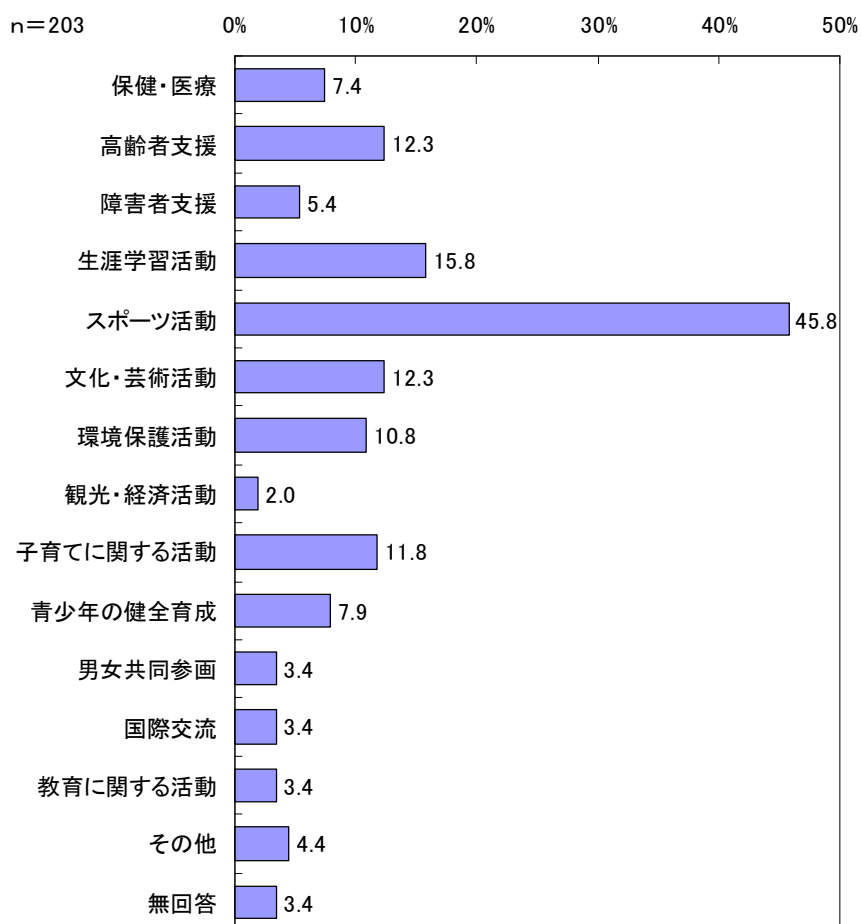
	合計	問12-1 参加した地域活動								
		町会・自治会	子ども会	PTA	老人クラブ	消防団	民生委員・児童委員	交通安全・防犯	その他	無回答
全体	383	278	172	122	33	6	4	27	29	5
	100.0	72.6	44.9	31.9	8.6	1.6	1.0	7.0	7.6	1.3
男性	150	116	47	6	16	2	1	15	18	1
	100.0	77.3	31.3	4.0	10.7	1.3	0.7	10.0	12.0	0.7
女性	227	159	124	115	16	4	3	12	11	2
	100.0	70.0	54.6	50.7	7.0	1.8	1.3	5.3	4.8	0.9
10代	15	2	14	0	0	1	0	0	1	0
	100.0	13.3	93.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
20代	19	8	12	0	0	1	0	2	1	0
	100.0	42.1	63.2	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0
30代	20	14	8	3	0	1	0	1	2	0
	100.0	70.0	40.0	15.0	0.0	5.0	0.0	5.0	10.0	0.0
40代	50	36	31	31	0	0	0	1	1	0
	100.0	72.0	62.0	62.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0
50代	84	60	47	39	0	2	1	4	9	0
	100.0	71.4	56.0	46.4	0.0	2.4	1.2	4.8	10.7	0.0
60代	85	69	39	31	5	0	1	5	5	1
	100.0	81.2	45.9	36.5	5.9	0.0	1.2	5.9	5.9	1.2
70歳以上	108	87	20	17	28	1	2	14	10	4
	100.0	80.6	18.5	15.7	25.9	0.9	1.9	13.0	9.3	3.7

男女別では、「子ども会」「PTA」で男女の割合に大きな差があり、「子ども会」では女性 54.6%が男性 31.3%を 23.3 ポイント、「PTA」では女性 50.7%が男性 4.0%を 46.7 ポイント上回っています。

年代別では、10～20代で「子ども会」の割合が最も高く、30代以上では「町会・自治会」が最も高くなっています。

(問13 市民活動参加の有無で「1 ある」と回答された方のみお答えください)

問13-1 あなたが参加したことがある市民活動の分野をお答えください。(〇はいくつでも)



市民活動に参加したことがある回答者の市民活動の分野は、「スポーツ活動」が 45.8%と他の項目に比べ突出して高く 4 割を超えています。次いで「生涯学習活動」15.8%、「高齢者支援」12.3%、「文化・芸術活動」12.3%、「子育てに関する活動」11.8%、「環境保護活動」10.8%と 10%台が続いています。

■クロス集計：性別、年齢×参加した市民活動

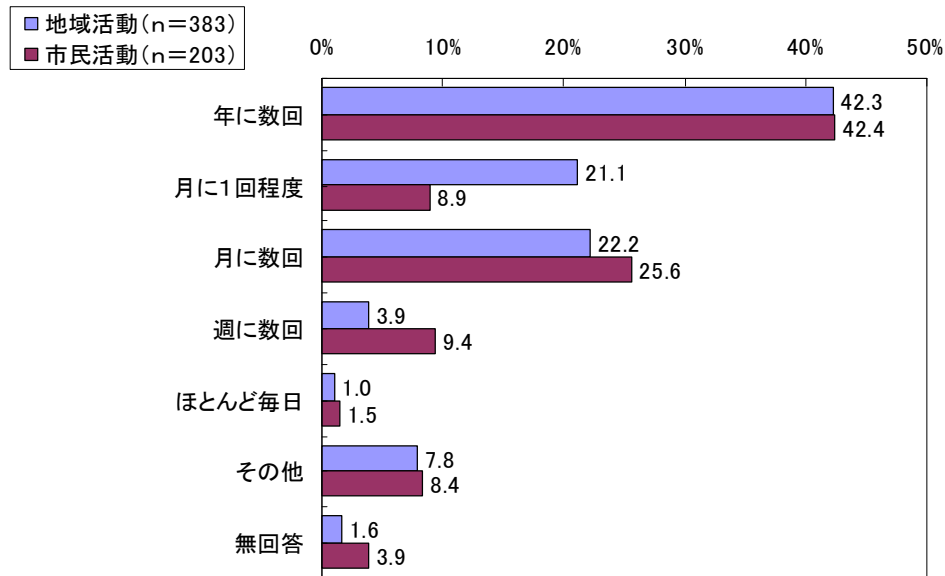
※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	合計	問13-1 参加した市民活動														
		保健・医療	高齢者支援	障害者支援	生涯学習活動	スポーツ活動	文化・芸術活動	環境保護活動	観光・経済活動	子育てに関する活動	青少年の健全育成	男女共同参画	国際交流	教育に関する活動	その他	無回答
全体	203 100.0	15 7.4	25 12.3	11 5.4	32 15.8	93 45.8	25 12.3	22 10.8	4 2.0	24 11.8	16 7.9	7 3.4	7 3.4	7 3.4	9 4.4	7 3.4
男性	80 100.0	5 6.3	7 8.8	5 6.3	5 6.3	46 57.5	7 8.8	13 16.3	4 5.0	2 2.5	5 6.3	3 3.8	5 6.3	2 2.5	5 6.3	2 2.5
女性	122 100.0	10 8.2	18 14.8	6 4.9	27 22.1	47 38.5	18 14.8	9 7.4	0 0.0	22 18.0	11 9.0	4 3.3	2 1.6	5 4.1	4 3.3	4 3.3
10代	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	10 100.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30代	14 100.0	3 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	8 57.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0
40代	23 100.0	1 4.3	2 8.7	4 17.4	2 8.7	12 52.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 39.1	3 13.0	0 0.0	2 8.7	1 4.3	0 0.0	0 0.0
50代	38 100.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	11 28.9	20 52.6	5 13.2	2 5.3	1 2.6	3 7.9	3 7.9	2 5.3	0 0.0	1 2.6	3 7.9	1 2.6
60代	48 100.0	1 2.1	1 2.1	1 2.1	10 20.8	24 50.0	8 16.7	4 8.3	2 4.2	1 2.1	4 8.3	2 4.2	3 6.3	2 4.2	3 6.3	0 0.0
70歳以上	68 100.0	9 13.2	21 30.9	5 7.4	8 11.8	29 42.6	11 16.2	14 20.6	0 0.0	1 1.5	6 8.8	3 4.4	1 1.5	2 2.9	2 2.9	6 8.8

男女別では、「スポーツ活動」「環境保護活動」で男性が女性を大きく上回っており、特に「スポーツ活動」は男性 57.5%が女性 38.5%を 19.0 ポイント上回っています。反対に「生涯学習活動」「子育てに関する活動」では女性が男性をそれぞれ 15.8 ポイント、15.5 ポイントと大きく上回っています。

年代別では、30代を除くすべての年代で「スポーツ活動」が最も高くなっています。また 20～40代にかけて「子育てに関する活動」の割合が、50代以上の年代で「生涯学習活動」の割合がそれぞれ高くなる傾向にあります。

問 12-2 あなたはどのくらいの頻度で地域活動に参加していますか（していましたか）。（〇はひとつ）
 問 13-2 あなたはどのくらいの頻度で市民活動に参加していますか（していましたか）。（〇はひとつ）

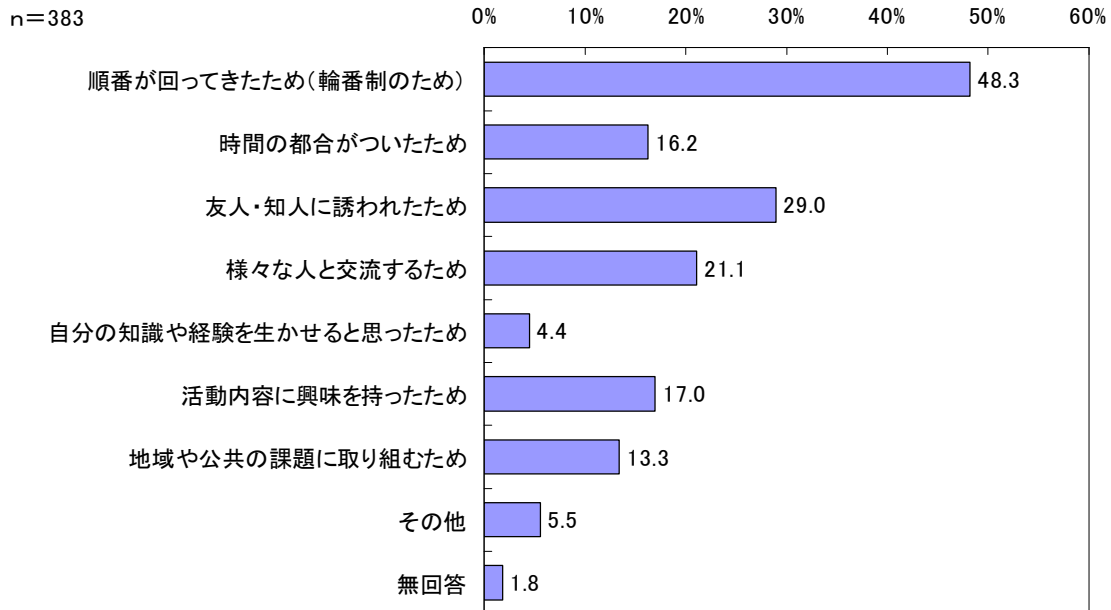


地域活動への参加頻度は、「年に数回」が 42.3%と 4割を超えて最も高く、次いで「月に数回」22.2%、「月に1回程度」21.1%が 2割台で続いています。

市民活動への参加頻度は、「年に数回」が 42.4%と 4割を超えて最も高く、次いで「月に数回」25.6%、「週に数回」9.4%、「月に1回程度」8.9%と続いています。

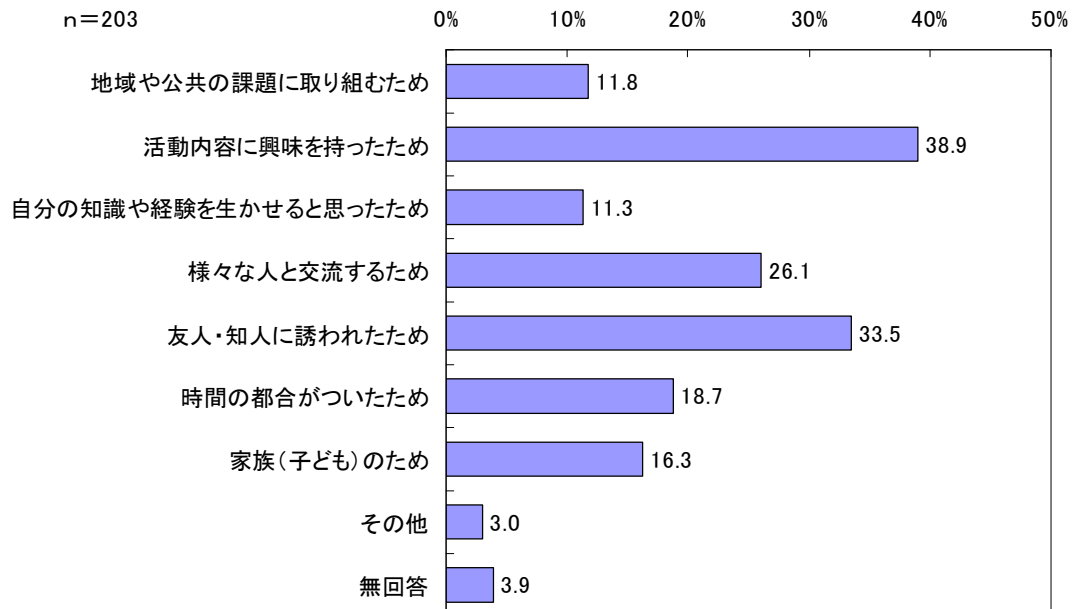
地域活動と市民活動の参加頻度を比較すると、ともに「年に数回」がほぼ同割合で最も高くなっています。また、「月に1回程度」は地域活動 21.1%が市民活動 8.9%を 12.2ポイント大きく上回っていますが、その他の項目では市民活動が地域活動を上回っています。

問 12-3 あなたが地域活動に参加した理由をお答えください。(〇はいくつでも)



地域活動に参加した理由は、「順番が回ってきたため(輪番制のため)」が48.3%と5割近くで高くなっており、次いで「友人・知人に誘われたため」29.0%、「様々な人と交流するため」21.1%の順に続いています。

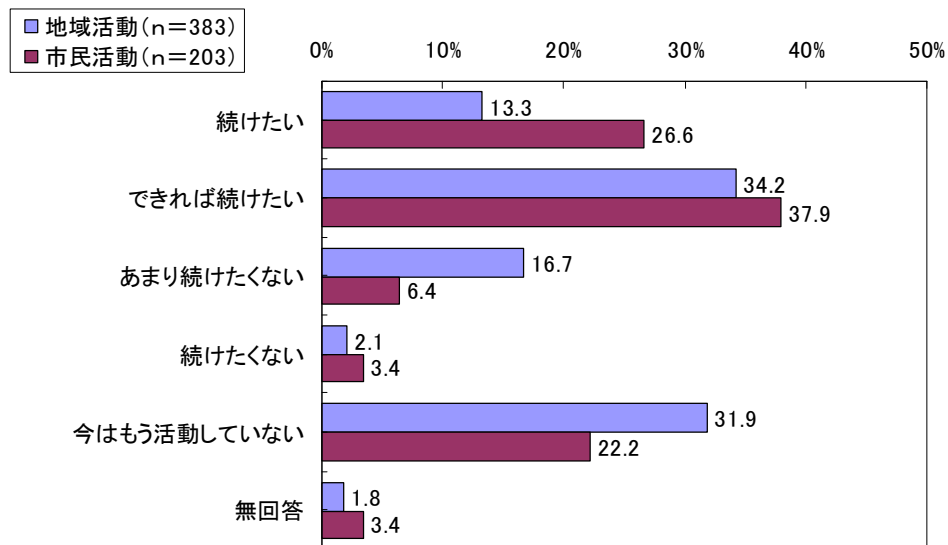
問 13-3 あなたが市民活動に参加した理由をお答えください。(〇はいくつでも)



市民活動に参加した理由は、「活動内容に興味を持ったため」が38.9%と4割近くで最も高くなっており、次いで「友人・知人に誘われたため」33.5%、「様々な人と交流するため」26.1%の順に続いています。

問 12-4 これからも地域活動を続けたいですか。(○はひとつ)

問 13-4 これからも市民活動を続けたいですか (○はひとつ)



地域活動の継続意向について、「続けたい」13.3%と「できれば続けたい」34.2%を合わせた『続けたい』は47.5%、「あまり続けたくない」16.7%と「続けたくない」2.1%を合わせた『続けたくない』は18.8%となっており、『続けたい』が『続けたくない』を28.7ポイント上回っています。また「今はもう活動していない」は31.9%と3割強を占めています。

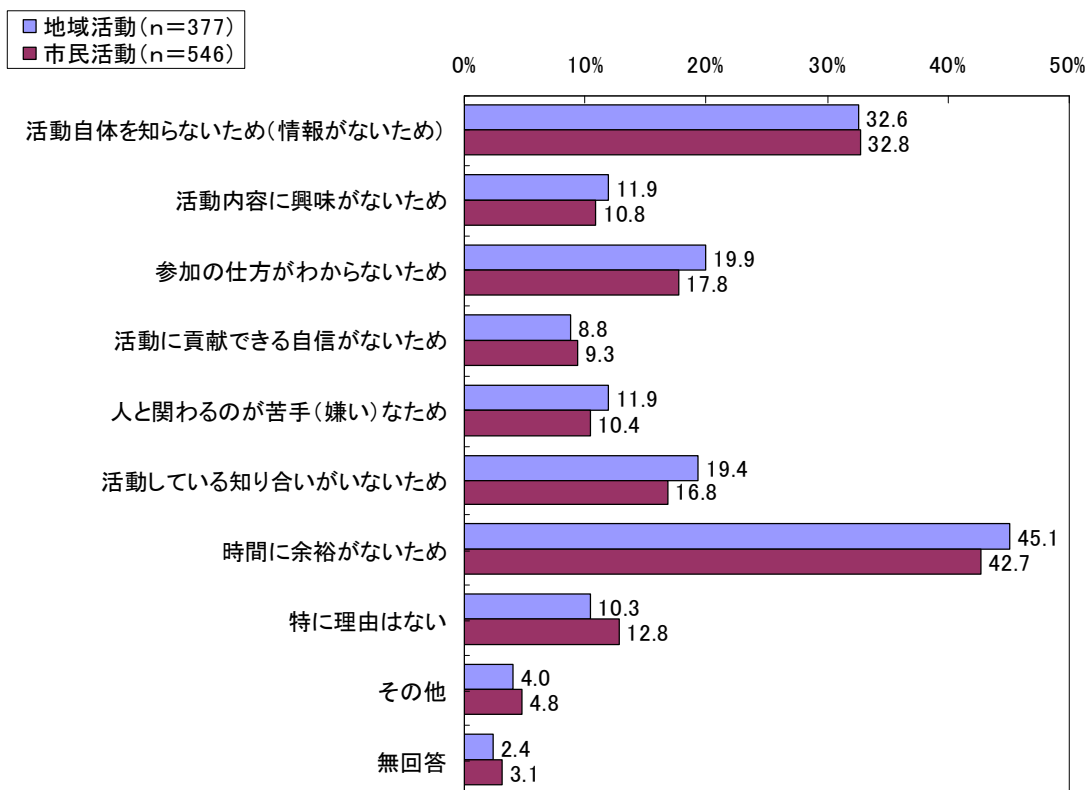
市民活動の継続意向について、「続けたい」26.6%と「できれば続けたい」37.9%を合わせた『続けたい』が64.5%、「あまり続けたくない」6.4%と「続けたくない」3.4%を合わせた『続けたくない』は9.8%となっており、『続けたい』が『続けたくない』を54.7ポイントと圧倒的に上回っています。また「今はもう活動していない」は22.2%と2割強を占めています。

地域活動と市民活動の継続意向を比較すると、『続けたい』の割合は市民活動64.5%が地域活動47.5%を17.0ポイント上回っており、反対に『続けたくない』は地域活動18.8%が市民活動9.8%を9ポイント上回っています。また「今はもう活動していない」は地域活動31.9%が市民活動22.2%を9.7ポイント上回っています。

(問 12 地域活動参加の有無、または問 13 市民活動参加の有無で「2 ない」と回答された方のみお答えください)

問 12-5 あなたが地域活動に参加しない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

問 13-5 あなたが市民活動に参加しない理由をお答えください。(〇はいくつでも)



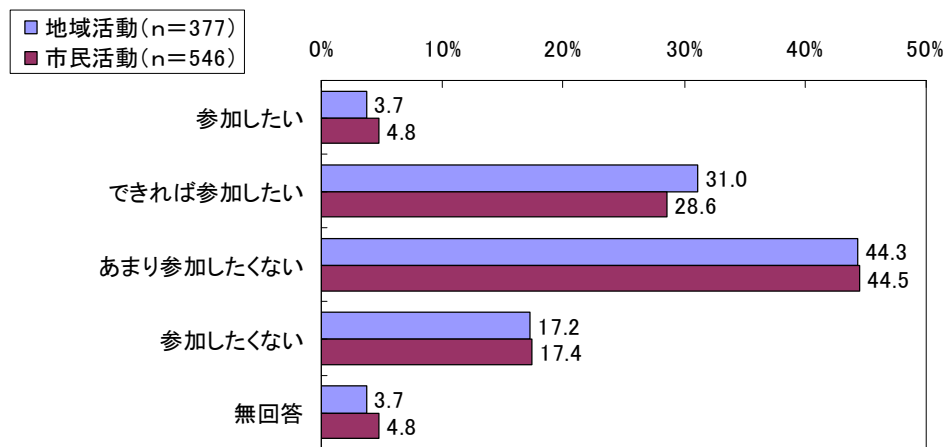
地域活動に参加したことがないと回答した人の参加しない理由は、「時間に余裕がないため」が45.1%と4割を超えて最も高く、次いで「活動自体を知らないため(情報がないため)」32.6%、「参加の仕方がわからないため」19.9%、「活動している知り合いがないため」19.4%の順に続いています。

市民活動に参加したことがないと回答した人の参加しない理由も地域活動と同様に、「時間に余裕がないため」が42.7%と最も高く、次いで「活動自体を知らないため(情報がないため)」32.8%、「参加の仕方がわからないため」17.8%、「活動している知り合いがないため」16.8%の順に続いています。

地域活動と市民活動の、参加しない理由を比較すると、全体的にどの項目の割合も大きな差はなく、両方の活動で「時間に余裕がないため」が4割を超えて最も高く、次いで「活動自体を知らないため(情報がないため)」が3割強となっています。

問 12-6 今後、地域活動に参加したいと思いますか。

問 13-6 今後、市民活動に参加したいと思いますか。

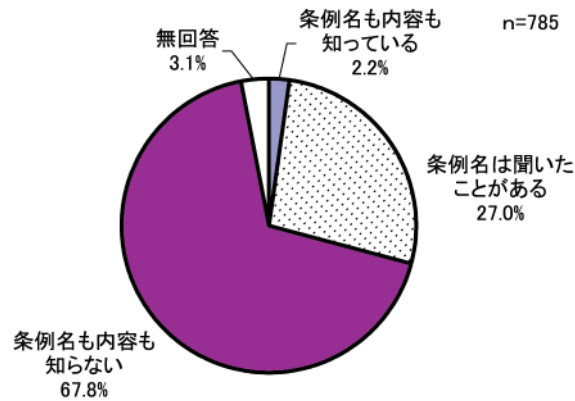


地域活動に参加したことがないと回答した人の今後の参加意向について、「参加したい」3.7%と「できれば参加したい」31.0%を合わせた『参加したい』は34.7%、「あまり参加したくない」44.3%と「参加したくない」17.2%を合わせた『参加したくない』は61.5%となっており、『参加したくない』が『参加したい』を26.8ポイント上回っています。

市民活動に参加したことがないと回答した人の今後の参加意向について、「参加したい」4.8%と「できれば参加したい」28.6%を合わせた『参加したい』は33.4%、「あまり参加したくない」44.5%と「参加したくない」17.4%を合わせた『参加したくない』は61.9%となっており、『参加したくない』が『参加したい』を28.5ポイント上回っています。

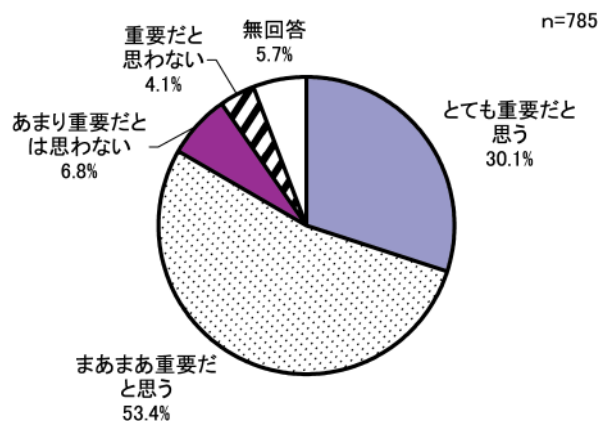
地域活動と市民活動の継続意向を比較すると、全体的にどの項目の割合も大きな差はなく、両方の活動で『参加したい』は3割台、『参加したくない』は6割強となっています。

問 14 あなたは「戸田市自治基本条例」を知っていますか。(〇はひとつ)



「戸田市自治基本条例」の認知状況は、「条例名も内容も知っている」が 2.2%、「条例名は聞いたことがある」が 27.0%となっていますが、「条例名も内容も知らない」は 67.8%と 7割近くを占めています。

問 15 市民の暮らしを豊かにするうえで、「戸田市自治基本条例」の考え方は重要だと思いますか。(〇はひとつ)

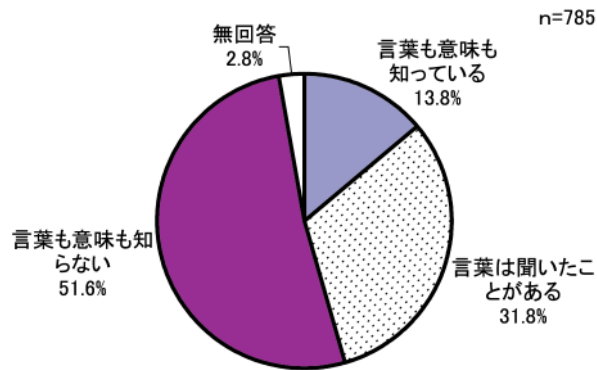


「戸田市自治基本条例」の考え方を、「とても重要だと思う」30.1%と「まあまあ重要だと思う」53.4%を合わせた『重要だと思う』は 83.5%と 8割を超えており、「あまり重要だと思わない」6.8%と「重要だと思わない」4.1%を合わせた『重要だと思わない』10.9%を 72.6ポイント圧倒的に上回っています。

5

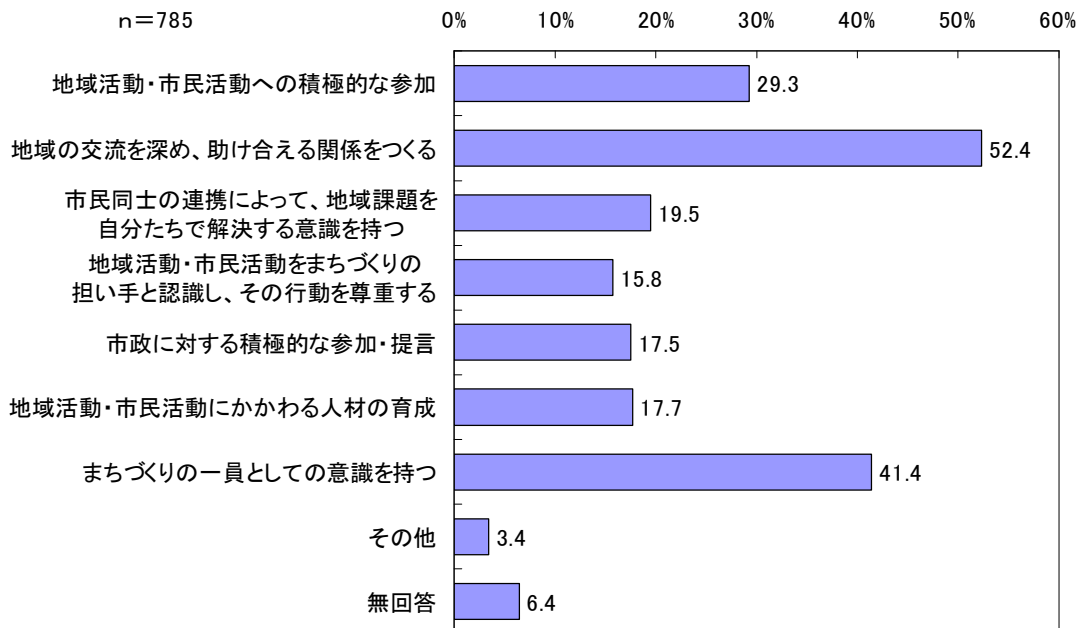
協働について

問 16 あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(〇はひとつ)



「協働」という言葉の認知状況は、「言葉も意味も知っている」が13.8%、「言葉は聞いたことがある」が31.8%となっており、「言葉も意味も知らない」は51.6%と5割を超えています。

問 17 あなたは、協働のまちづくりを進めるために市民ができることはなんだと思いますか。(〇は3つまで)



協働のまちづくりを進めるために市民ができることは、「地域の交流を深め、助け合える環境をつくる」が52.4%と5割を超えて最も高く、次いで「まちづくりの一員としての意識を持つ」41.4%、「地域活動・市民活動への積極的な参加」29.3%の順に続いています。

■クロス集計：年代×協働のまちづくりのために市民ができること

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	問17 協働のまちづくりのために市民ができること									
	合計	地域活動・市民活動への積極的な参加	地域の交流を深め、助け合える関係をつくる	市民同士の連携によって、地域課題を自分たちで解決する意識を持つ	地域活動・市民活動をまちづくりの担い手と認識し、その行動を尊重する	市政に対する積極的な参加・提言	地域活動・市民活動にかかわる人材の育成	まちづくりの一員としての意識を持つ	その他	無回答
全体	785 100.0	230 29.3	411 52.4	153 19.5	124 15.8	137 17.5	139 17.7	325 41.4	27 3.4	50 6.4
10代	26 100.0	11 42.3	11 42.3	6 23.1	1 3.8	3 11.5	4 15.4	10 38.5	1 3.8	0 0.0
20代	78 100.0	31 39.7	40 51.3	20 25.6	11 14.1	18 23.1	13 16.7	32 41.0	3 3.8	2 2.6
30代	93 100.0	35 37.6	46 49.5	19 20.4	18 19.4	24 25.8	16 17.2	32 34.4	1 1.1	3 3.2
40代	114 100.0	21 18.4	61 53.5	24 21.1	21 18.4	22 19.3	20 17.5	56 49.1	5 4.4	3 2.6
50代	145 100.0	38 26.2	82 56.6	22 15.2	18 12.4	25 17.2	26 17.9	69 47.6	6 4.1	9 6.2
60代	158 100.0	47 29.7	76 48.1	25 15.8	30 19.0	27 17.1	25 15.8	68 43.0	7 4.4	13 8.2
70歳以上	166 100.0	45 27.1	92 55.4	36 21.7	24 14.5	17 10.2	34 20.5	56 33.7	4 2.4	20 12.0

年代別では、「市政に対する積極的な参加・提言」で20～30代が2割を超えて他の年代よりも高くなっています。一方、「地域活動・市民活動への積極的な参加」では40代が、「市民同士の連携によって、地域課題を自分たちで解決する意識を持つ」では50～60代が、それぞれ10%台で他の年代よりも低くなっています。

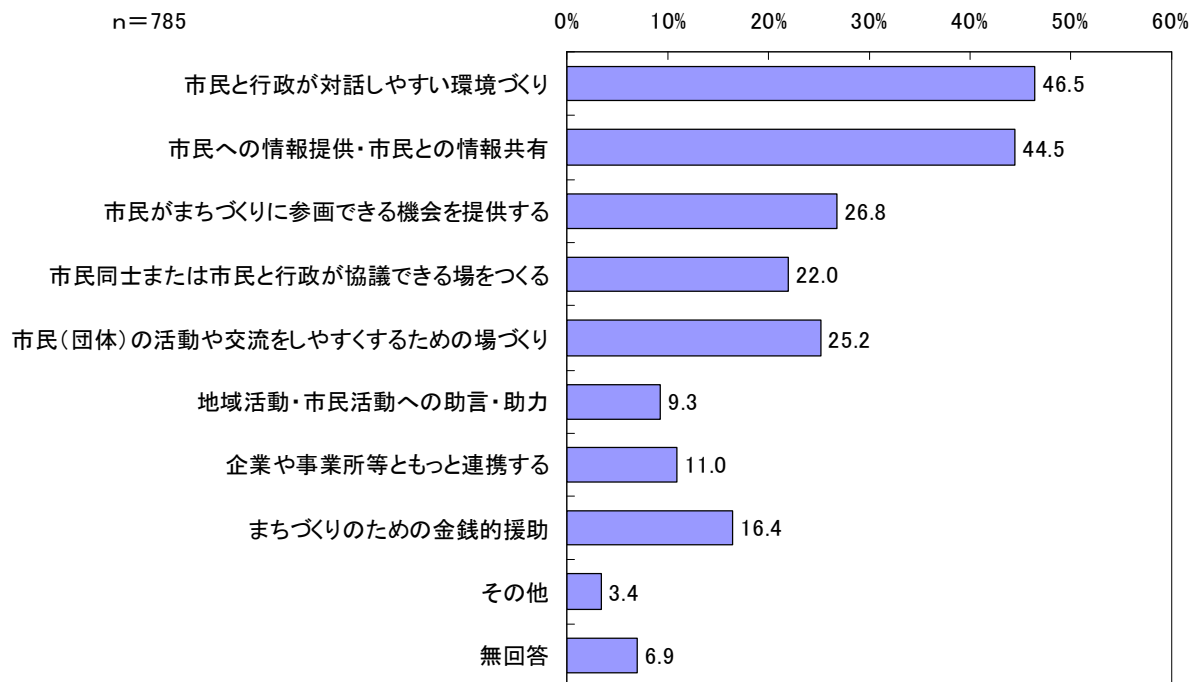
■クロス集計：居住地区×協働のまちづくりのために市民ができること

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	問17 協働のまちづくりのために市民ができること									
	合計	地域活動・市民活動への積極的な参加	地域の交流を深め、助け合える関係をつくる	市民同士の連携によって、地域課題を自分たちで解決する意識を持つ	地域活動・市民活動をまちづくりの担い手と認識し、その行動を尊重する	市政に対する積極的な参加・提言	地域活動・市民活動にかかわる人材の育成	まちづくりの一員としての意識を持つ	その他	無回答
全体	785 100.0	230 29.3	411 52.4	153 19.5	124 15.8	137 17.5	139 17.7	325 41.4	27 3.4	50 6.4
下戸田地区	245 100.0	57 23.3	125 51.0	45 18.4	38 15.5	44 18.0	39 15.9	97 39.6	11 4.5	18 7.3
上戸田地区	162 100.0	51 31.5	92 56.8	30 18.5	26 16.0	29 17.9	34 21.0	68 42.0	4 2.5	10 6.2
新曽地区	162 100.0	54 33.3	84 51.9	40 24.7	19 11.7	36 22.2	24 14.8	73 45.1	4 2.5	6 3.7
笹目地区	123 100.0	49 39.8	60 48.8	19 15.4	22 17.9	14 11.4	28 22.8	55 44.7	4 3.3	7 5.7
美女木地区	86 100.0	16 18.6	46 53.5	18 20.9	17 19.8	13 15.1	13 15.1	29 33.7	4 4.7	9 10.5

居住地区別では、すべての地区で「地域の交流を深め、助け合える環境をつくる」の割合が最も高くなっています。一方、新曽地区で「地域活動・市民活動をまちづくりの担い手として認識し、その行動を尊重する」が11.7%、笹目地区で「市民同士の連携によって、地域課題を自分たちで解決する意識を持つ」「市政に対する積極的な参加・提言」がそれぞれ15.4%、11.4%、美女木地区で「地域活動・市民活動への積極的な参加」「まちづくりの一員としての意識を持つ」がそれぞれ18.6%、33.7%となっており、他の地域に比べ割合が低くなっています。

問 18 あなたは、協働のまちづくりを進めるために行政がすべきことはなんだと思いますか。(〇は3つまで)



協働のまちづくりを進めるために行政がすべきことは、「市民と行政が対話しやすい環境づくり」が 46.5%、「市民への情報提供・市民との情報共有」が 44.5%と、市民との対話や情報共有が 4 割半ば前後で他の項目よりも高くなっています。次いで「市民がまちづくりに参画できる機会を提供する」26.8%、「市民(団体)の活動や交流をしやすいための場づくり」25.2%、「市民同士または市民と行政が協議できる場をつくる」22.0%といった機会や場の提供が 2 割台で続いています。

■クロス集計：性別、年代×協働のまちづくりのために行政がすべきこと

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問18 協働のまちづくりのために行政がすべきこと									
		市民と行政が対話しやすい環境づくり	市民への情報提供・市民との情報共有	市民がまちづくりに参画できる機会を提供する	市民同士または市民と行政が協議できる場をつくる	市民（団体）の活動や交流をしやすいための場づくり	地域活動・市民活動への助言・助力	企業や事業所等ともっと連携する	まちづくりのための金銭的援助	その他	無回答
全体	785 100.0	365 46.5	349 44.5	210 26.8	173 22.0	198 25.2	73 9.3	86 11.0	129 16.4	27 3.4	54 6.9
10代	26 100.0	11 42.3	8 30.8	9 34.6	6 23.1	9 34.6	1 3.8	3 11.5	4 15.4	1 3.8	0 0.0
20代	78 100.0	34 43.6	41 52.6	16 20.5	22 28.2	24 30.8	6 7.7	11 14.1	21 26.9	3 3.8	2 2.6
30代	93 100.0	39 41.9	51 54.8	25 26.9	21 22.6	29 31.2	7 7.5	13 14.0	15 16.1	1 1.1	2 2.2
40代	114 100.0	53 46.5	59 51.8	24 21.1	24 21.1	22 19.3	12 10.5	21 18.4	19 16.7	6 5.3	1 0.9
50代	145 100.0	62 42.8	65 44.8	39 26.9	36 24.8	40 27.6	13 9.0	16 11.0	24 16.6	7 4.8	9 6.2
60代	158 100.0	80 50.6	64 40.5	53 33.5	26 16.5	43 27.2	18 11.4	10 6.3	26 16.5	5 3.2	16 10.1
70歳以上	166 100.0	85 51.2	58 34.9	43 25.9	37 22.3	30 18.1	16 9.6	11 6.6	19 11.4	4 2.4	24 14.5

年代別では、「市民への情報提供・市民との情報共有」で10代と70歳以上が3割台、「市民（団体）の活動や交流をしやすいするための場づくり」で40代と70歳以上が2割弱、「企業や事業所等ともっと連携する」で60代以上が6%台と、他の年代に比べ低い割合になっています。一方、「まちづくりのための金銭的援助」では20代が26.9% 2割を越えて他の年代よりも高くなっています。

■クロス集計：居住地区×協働のまちづくりのために行政がすべきこと

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

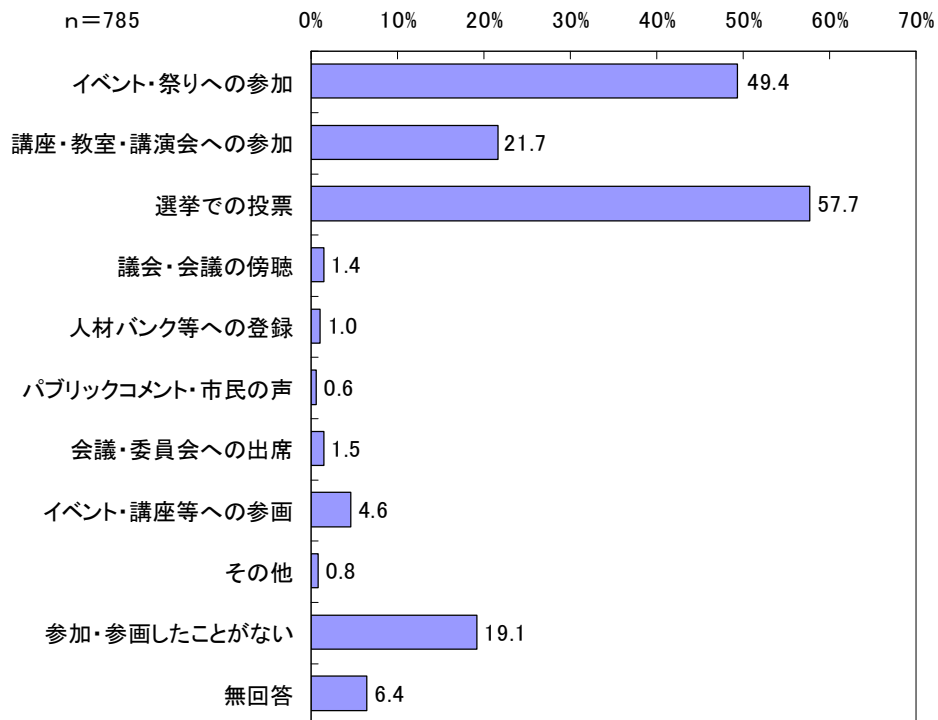
	合計	問18 協働のまちづくりのために行政がすべきこと									
		市民と行政が対話しやすい環境づくり	市民への情報提供・市民との情報共有	市民がまちづくりに参画できる機会を提供する	市民同士または市民と行政が協議できる場をつくる	市民（団体）の活動や交流をしやすいための場づくり	地域活動・市民活動への助言・助力	企業や事業所等ともっと連携する	まちづくりのための金銭的援助	その他	無回答
全体	785 100.0	365 46.5	349 44.5	210 26.8	173 22.0	198 25.2	73 9.3	86 11.0	129 16.4	27 3.4	54 6.9
下戸田地区	245 100.0	107 43.7	104 42.4	59 24.1	45 18.4	62 25.3	20 8.2	26 10.6	33 13.5	12 4.9	22 9.0
上戸田地区	162 100.0	74 45.7	72 44.4	46 28.4	39 24.1	45 27.8	21 13.0	17 10.5	26 16.0	2 1.2	9 5.6
新曽地区	162 100.0	87 53.7	77 47.5	44 27.2	42 25.9	41 25.3	14 8.6	22 13.6	25 15.4	5 3.1	7 4.3
笹目地区	123 100.0	61 49.6	52 42.3	37 30.1	28 22.8	30 24.4	13 10.6	9 7.3	30 24.4	3 2.4	8 6.5
美女木地区	86 100.0	35 40.7	40 46.5	22 25.6	18 20.9	19 22.1	5 5.8	11 12.8	13 15.1	5 5.8	7 8.1

居住地区別では、美女木地区で「地域活動・市民活動への助言・助力」は5.8%、笹目地区で「企業や事業所等ともっと連携する」が7.3%と1割を切って低くなっています。一方、笹目地区では「まちづくりのための金銭的援助」が24.4%と他の地区に比べ高い割合となっています。

6

参加・参画について

問 19 行政が行っている以下の事業や取り組みの中で、あなたが参加または参画したことがあるものをお答えください。(〇はいくつでも)



行政が行っている事業や取り組みの中で参加または参画したことがあるものについて、「選挙での投票」が57.7%と5割を超えて最も高く、次いで「イベント・祭りへの参加」が49.4%と、この二つが他の項目よりも飛び抜けて高くなっています。また、「講座・教室・講演会への参加」21.7%、「イベント・講座への参画」4.6%と続いている一方、「参加・参画したことがない」は19.1%と2割近くになっています。

■クロス集計：年代×参加・参画したことがある事業・取り組み

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	合計	問19 参加・参画したことがある事業・取り組み										参加・参画したことがない	無回答
		イベント・祭りへの参加	講座・教室・講演会への参加	選挙での投票	議会・会議の傍聴	人材バンク等への登録	パブリックコメント・市民の声	会議・委員会への出席	イベント・講座等への参画	その他			
全体	785 100.0	388 49.4	170 21.7	453 57.7	11 1.4	8 1.0	5 0.6	12 1.5	36 4.6	6 0.8	150 19.1	50 6.4	
10代	26 100.0	19 73.1	4 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	0 0.0	6 23.1	0 0.0	
20代	78 100.0	35 44.9	5 6.4	36 46.2	0 0.0	0 0.0	2 2.6	1 1.3	2 2.6	0 0.0	26 33.3	3 3.8	
30代	93 100.0	59 63.4	9 9.7	51 54.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	19 20.4	4 4.3	
40代	114 100.0	56 49.1	26 22.8	70 61.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	2 1.8	27 23.7	2 1.8	
50代	145 100.0	80 55.2	35 24.1	90 62.1	0 0.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	6 4.1	2 1.4	26 17.9	6 4.1	
60代	158 100.0	75 47.5	45 28.5	101 63.9	2 1.3	4 2.5	0 0.0	5 3.2	16 10.1	1 0.6	25 15.8	12 7.6	
70歳以上	166 100.0	63 38.0	46 27.7	103 62.0	9 5.4	3 1.8	2 1.2	6 3.6	9 5.4	1 0.6	19 11.4	23 13.9	

年代別では、「講座・教室・講演会への参加」「選挙での投票」は年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあり、40代以上で「講座・教室・講演会への参加」では2割、「選挙での投票」では6割を超えて高くなっています。一方、「参加・参画したことがない」割合は20代が最も高く3割を超えています。

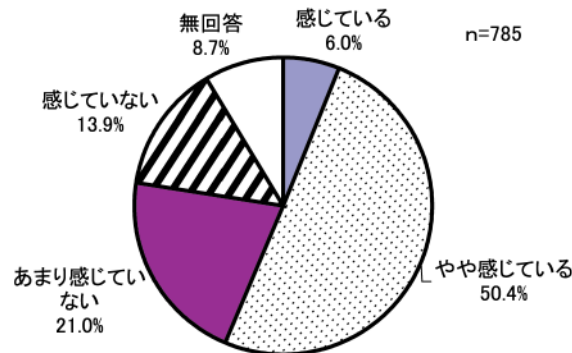
■クロス集計：居住地区×参加・参画したことがある事業・取り組み

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	合計	問19 参加・参画したことがある事業・取り組み										参加・参画したことがない	無回答
		イベント・祭りへの参加	講座・教室・講演会への参加	選挙での投票	議会・会議の傍聴	人材バンク等への登録	パブリックコメント・市民の声	会議・委員会への出席	イベント・講座等への参画	その他			
全体	785 100.0	388 49.4	170 21.7	453 57.7	11 1.4	8 1.0	5 0.6	12 1.5	36 4.6	6 0.8	150 19.1	50 6.4	
下戸田地区	245 100.0	120 49.0	38 15.5	138 56.3	5 2.0	3 1.2	0 0.0	3 1.2	8 3.3	3 1.2	50 20.4	20 8.2	
上戸田地区	162 100.0	89 54.9	48 29.6	93 57.4	2 1.2	3 1.9	2 1.2	4 2.5	13 8.0	0 0.0	30 18.5	6 3.7	
新曽地区	162 100.0	70 43.2	37 22.8	90 55.6	1 0.6	2 1.2	2 1.2	1 0.6	7 4.3	2 1.2	36 22.2	10 6.2	
笹目地区	123 100.0	68 55.3	31 25.2	77 62.6	3 2.4	0 0.0	1 0.8	2 1.6	5 4.1	1 0.8	17 13.8	6 4.9	
美女木地区	86 100.0	40 46.5	16 18.6	53 61.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.3	3 3.5	0 0.0	14 16.3	7 8.1	

居住地区別では、「イベント・お祭りへの参加」は上戸田地区 54.9%と笹目地区 55.3%が5割半ばで他の地区よりも高く、「選挙での投票」は笹目地区 62.6%と美女木地区 61.6%が6割を超えて高くなっています。「講座・教室・講演会への参加」は全体に比べ下戸田地区 15.5%と美女木地区 18.6%が2割を切って低くなっています。また、「参加・参画したことがない」は笹目地区が13.8%と他の地区に比べ低い割合となっています。

問 20 あなたは、市が行っている事業や取り組みに参加または参画しやすいと感じていますか。
(○はひとつ)



市が行っている事業や取り組みに参加または参画しやすいかについて、参加・参画しやすいと「感じる」6.0%と「やや感じている」50.4%を合わせた『参加・参画しやすいと感じている』は56.4%と5割を超えており、「あまり感じていない」21.0%と「感じていない」13.9%を合わせた『参加・参画しやすいと感じていない』34.9%よりも21.5ポイント大きく上回っています。

■クロス集計：友人・知人の数×参加・参画しやすさ

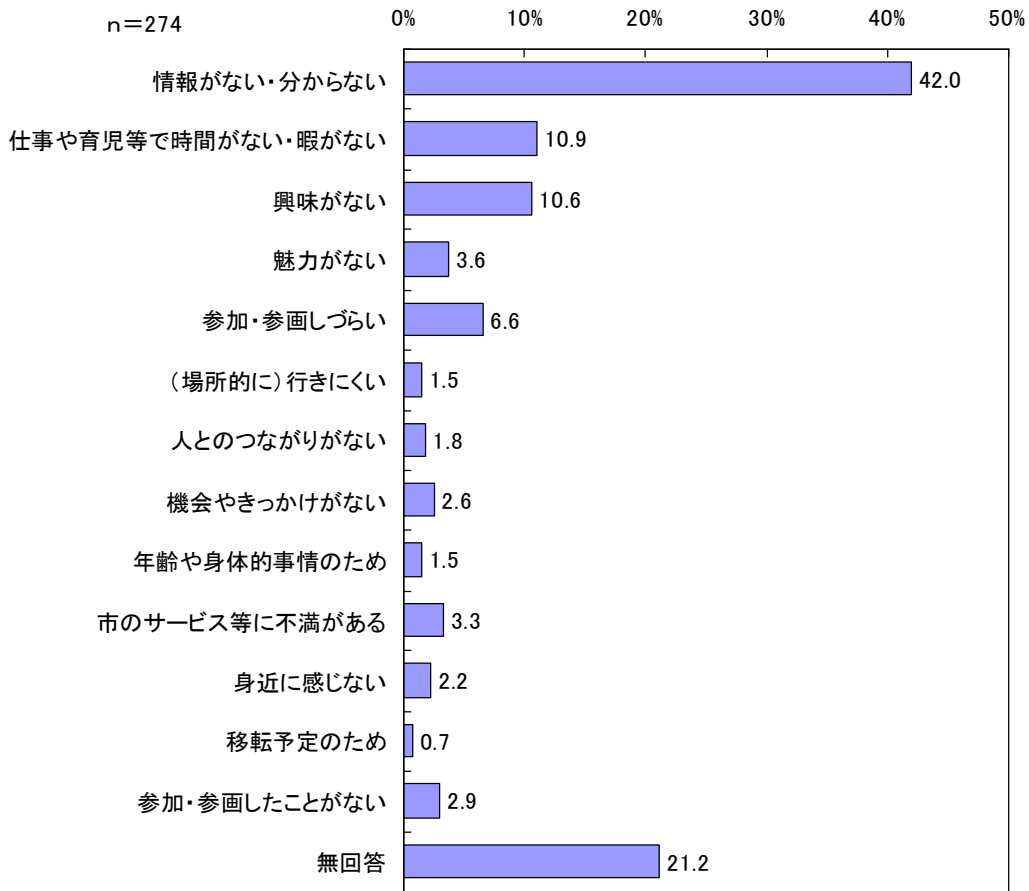
※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問20 参加・参画のしやすさ					
		感じる	やや感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答	
全体	785 100.0	47 6.0	396 50.4	165 21.0	109 13.9	68 8.7	
問10 市内の友人・知人数	0人	78 100.0	2 2.6	30 38.5	16 20.5	21 26.9	9 11.5
	1～5人	209 100.0	13 6.2	94 45.0	50 23.9	37 17.7	15 7.2
	6～10人	121 100.0	1 0.8	61 50.4	32 26.4	15 12.4	12 9.9
		11～20人	111 100.0	9 8.1	59 53.2	14 12.6	17 15.3
	21～50人	138 100.0	12 8.7	78 56.5	29 21.0	5 3.6	14 10.1
	51人以上	118 100.0	9 7.6	71 60.2	20 16.9	13 11.0	5 4.2

市内の友人・知人の数別に見ると、市が行っている事業や取り組みへの参加・参画のしやすさについて、「感じる」と「やや感じている」を合わせた『参加・参画しやすいと感じている』割合は市内の友人・知人の数が多いほど高くなる傾向にあり、51人以上で67.8%と最も高く、0人で41.1%と最も低くなっています。反対に、「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた『参加・参画しやすいと感じていない』割合は友人・知人の数が少ないほど高くなる傾向にあり、0人が47.4%と最も高く、11人以上からは20%台にとどまっています。

(問 20 市の事業や取り組みへの参加・参画のしやすさで「3 あまり感じていない」「4 感じていない」と回答された方のみお答えください)

問 20-1 なぜそう思いますか。(自由記述)

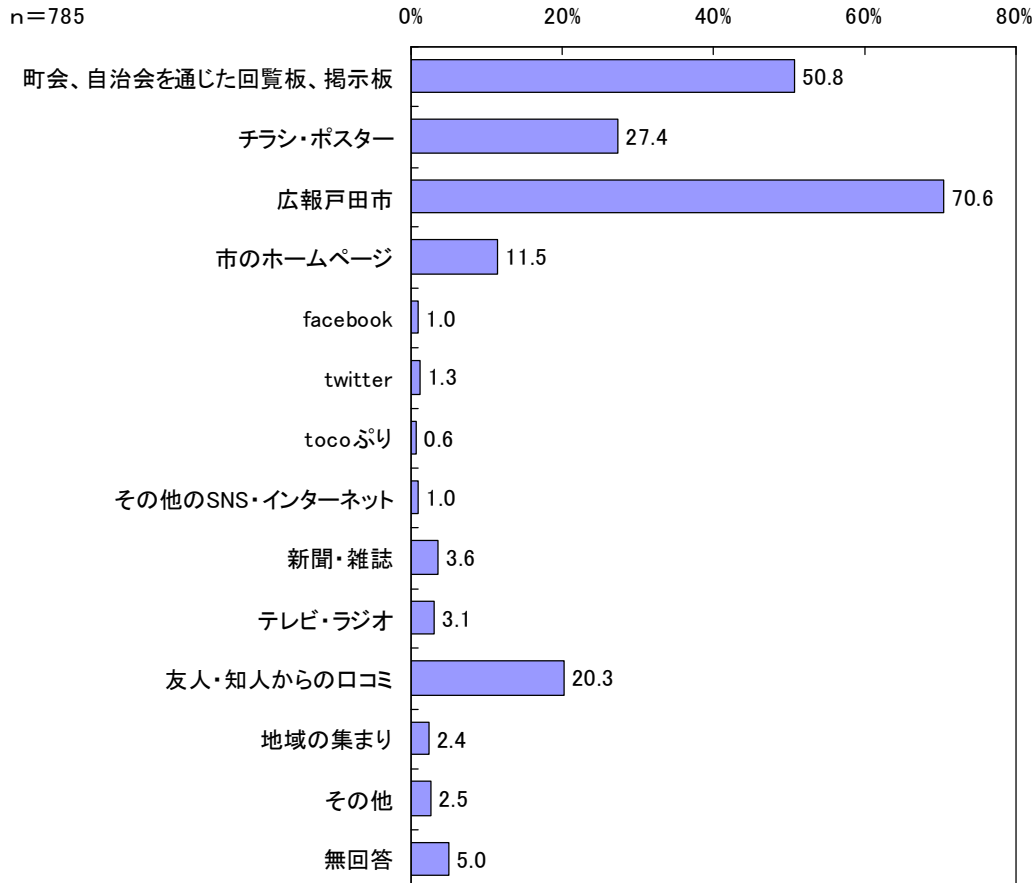


行政が行っている事業や取り組みに『参加・参画しやすいと感じていない』と回答した理由について「無回答」を除くと、「情報がない・分からない」が 42.0%と 4 割を超えて最も高く、次いで「仕事や育児等で時間がない・暇がない」10.9%、「興味がない」10.6%がほぼ同じ割合で続いています。

7

情報共有について

問 21 あなたは、市内の情報（行政に限らず）をどのように入手することが多いですか。
（〇は3つまで）



市内の情報入手手段は、「広報戸田市」が70.6%と7割に達し他の項目よりも飛び抜けて高く、次いで「町会、自治会を通じた回覧板、掲示板」が50.8%と5割に達しています。また「チラシ・ポスター」27.4%、「友人・知人からの口コミ」20.3%、「市のホームページ」11.5%と続いています。

■クロス集計：性別×情報入手方法

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問21 情報入手方法											
		町会、自治会を通じた回覧板、掲示板	チラシ・ポスター	広報戸田市	市のホームページ	SNS・インターネット	tocoふり	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人からの口コミ	地域の集まり	その他	無回答
全体	785 100.0	399 50.8	215 27.4	554 70.6	90 11.5	26 3.3	5 0.6	28 3.6	24 3.1	159 20.3	19 2.4	20 2.5	39 5.0
男性	343 100.0	165 48.1	78 22.7	227 66.2	39 11.4	16 4.7	4 1.2	16 4.7	14 4.1	46 13.4	12 3.5	11 3.2	24 7.0
女性	426 100.0	228 53.5	134 31.5	318 74.6	49 11.5	10 2.3	1 0.2	12 2.8	10 2.3	109 25.6	7 1.6	8 1.9	13 3.1

※twitter、facebook、その他のSNS・インターネットはSNS・インターネットに統合

男女別では、特に「友人・知人のからの口コミ」が女性25.6%、男性13.4%となっており、女性が男性を12.2ポイント大きく上回っています。

■クロス集計：年代×情報入手方法

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	合計	問21 情報入手方法											無回答
		町会、自治会を通じた回覧板、掲示板	チラシ・ポスター	広報戸田市	市のホームページ	SNS・インターネット	tocoぶり	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人からの口コミ	地域の集まり	その他	
全体	785 100.0	399 50.8	215 27.4	554 70.6	90 11.5	26 3.3	5 0.6	28 3.6	24 3.1	159 20.3	19 2.4	20 2.5	39 5.0
10代	26 100.0	7 26.9	12 46.2	15 57.7	2 7.7	5 19.2	0 0.0	0 0.0	2 7.7	4 15.4	0 0.0	2 7.7	0 0.0
20代	78 100.0	21 26.9	39 50.0	30 38.5	12 15.4	9 11.5	0 0.0	4 5.1	1 1.3	16 20.5	0 0.0	5 6.4	4 5.1
30代	93 100.0	31 33.3	41 44.1	59 63.4	15 16.1	3 3.2	1 1.1	1 1.1	1 1.1	19 20.4	0 0.0	1 1.1	4 4.3
40代	114 100.0	53 46.5	32 28.1	87 76.3	19 16.7	4 3.5	3 2.6	1 0.9	2 1.8	20 17.5	0 0.0	5 4.4	3 2.6
50代	145 100.0	75 51.7	42 29.0	108 74.5	23 15.9	2 1.4	0 0.0	3 2.1	2 1.4	23 15.9	1 0.7	6 4.1	7 4.8
60代	158 100.0	92 58.2	30 19.0	132 83.5	12 7.6	3 1.9	0 0.0	8 5.1	4 2.5	39 24.7	6 3.8	0 0.0	7 4.4
70歳以上	166 100.0	118 71.1	17 10.2	121 72.9	6 3.6	0 0.0	1 0.6	11 6.6	12 7.2	38 22.9	12 7.2	1 0.6	14 8.4

※twitter、facebook、その他のSNS・インターネットはSNS・インターネットに統合

年代別では、20代以外のすべての年代は全体と同じく「広報戸田市」の割合が最も高くなっていますが、20代は「チラシ・ポスター」50.0%が5割で最も高くなっています。また、「町会、自治会を通じた回覧板、掲示板」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、70歳以上では71.1%と7割を超えています。反対に「SNS・インターネット(twitter、facebook、その他のSNSインターネットを統合)」は年齢が下がるにつれて高くなる傾向にあり、10～20代で10%を超えています。

■クロス集計：居住地区×情報入手方法

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	合計	問21 情報入手方法											無回答
		町会、自治会を通じた回覧板、掲示板	チラシ・ポスター	広報戸田市	市のホームページ	SNS・インターネット	tocoぶり	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人からの口コミ	地域の集まり	その他	
全体	785 100.0	399 50.8	215 27.4	554 70.6	90 11.5	26 3.3	5 0.6	28 3.6	24 3.1	159 20.3	19 2.4	20 2.5	39 5.0
下戸田地区	245 100.0	127 51.8	50 20.4	175 71.4	27 11.0	6 2.4	1 0.4	8 3.3	9 3.7	55 22.4	3 1.2	6 2.4	17 6.9
上戸田地区	162 100.0	77 47.5	52 32.1	125 77.2	18 11.1	9 5.6	0 0.0	5 3.1	1 0.6	33 20.4	3 1.9	4 2.5	7 4.3
新曽地区	162 100.0	68 42.0	52 32.1	106 65.4	22 13.6	8 4.9	2 1.2	7 4.3	7 4.3	32 19.8	3 1.9	3 1.9	9 5.6
笹目地区	123 100.0	79 64.2	34 27.6	87 70.7	10 8.1	2 1.6	1 0.8	8 6.5	5 4.1	30 24.4	5 4.1	2 1.6	3 2.4
美女木地区	86 100.0	46 53.5	25 29.1	57 66.3	12 14.0	1 1.2	1 1.2	0 0.0	2 2.3	9 10.5	5 5.8	5 5.8	3 3.5

※twitter、facebook、その他のSNS・インターネットはSNS・インターネットに統合

居住地区別では、「町会、自治会を通じた回覧板、掲示板」は笹目地区 64.2%が他の地区に比べ高くなっており、最も低い新曽地区 42.0%よりも 22.2 ポイント大きく上回っています。また、「チラシ・ポスター」は下戸田地区 20.4%が2割、「友人・知人からの口コミ」は美女木地区 10.5%が1割となっており、他の地区と比べ割合が低くなっています。

■クロス集計：居住年数×情報入手方法

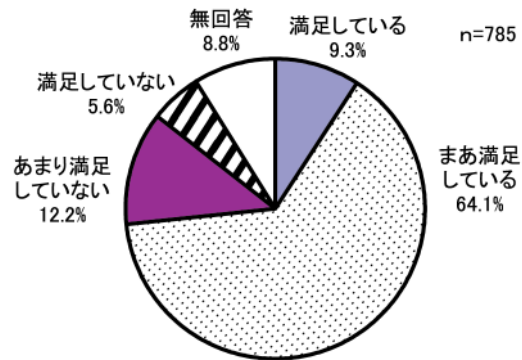
※上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）

	合計	問21 情報入手方法											無回答
		町会、自治会を通じた回覧板、掲示板	チラシ・ポスター	広報戸田市	市のホームページ	SNS・インターネット	tocoぶり	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人からの口コミ	地域の集まり	その他	
全体	785	399	215	554	90	26	5	28	24	159	19	20	39
	100.0	50.8	27.4	70.6	11.5	3.3	0.6	3.6	3.1	20.3	2.4	2.5	5.0
1年未満	32	11	15	10	3	6	0	4	1	3	1	1	2
	100.0	34.4	46.9	31.3	9.4	2.4	0.0	12.5	3.1	9.4	3.1	3.1	6.3
1年以上	92	29	40	46	15	9	1	4	0	15	1	5	7
5年未満	100.0	31.5	43.5	50.0	16.3	5.6	1.1	4.3	0.0	16.3	1.1	5.4	7.6
5年以上	68	24	23	45	12	8	0	0	0	12	1	3	4
10年未満	100.0	35.3	33.8	66.2	17.6	4.9	0.0	0.0	0.0	17.6	1.5	4.4	5.9
10年以上	164	73	54	120	21	2	1	3	6	29	1	6	6
20年未満	100.0	44.5	32.9	73.2	12.8	1.6	0.6	1.8	3.7	17.7	0.6	3.7	3.7
20年以上	423	260	81	331	38	1	3	17	17	100	15	5	19
	100.0	61.5	19.1	78.3	9.0	1.2	0.7	4.0	4.0	23.6	3.5	1.2	4.5

※twitter、facebook、その他のSNS・インターネットはSNS・インターネットに統合

居住年数別では、居住年数が長いほど「広報戸田市」「友人・知人からの口コミ」の割合が高くなる傾向にあり、反対に居住年数が短いほど「チラシ・ポスター」の割合が高くなっています。また、居住年数が1年未満では「新聞・雑誌」の割合が他の項目よりも高く、「友人・知人からの口コミ」の割合は低くなっています。

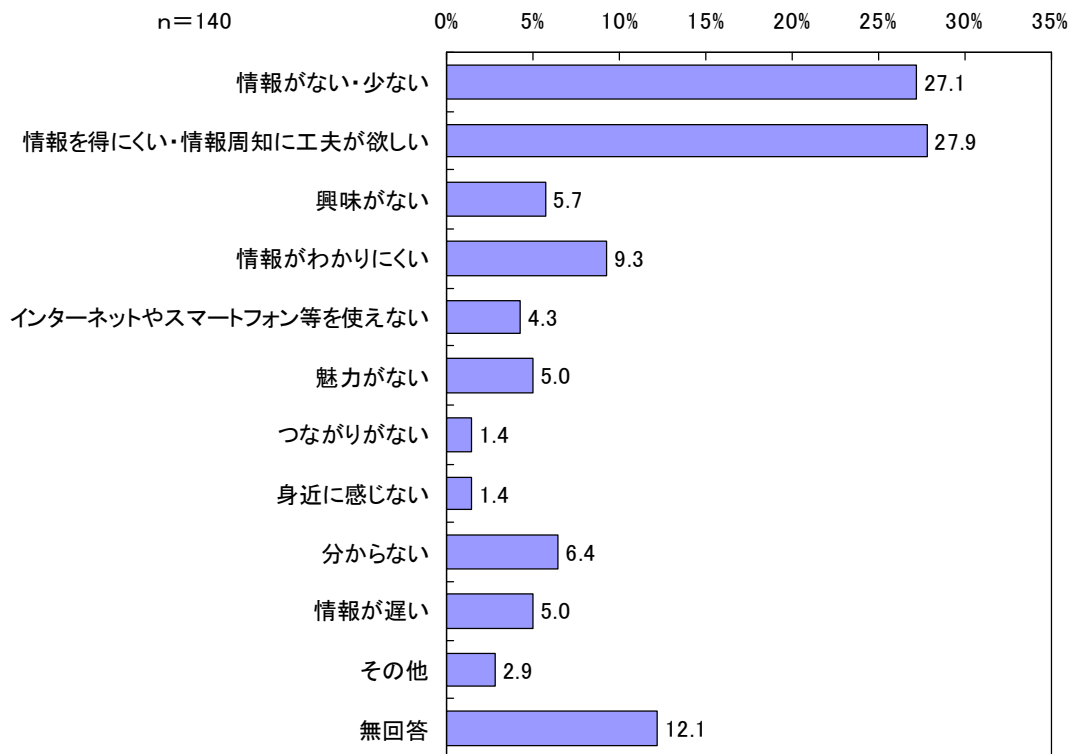
問22 あなたは、市内で得られる情報（質・量・スピード）に満足していますか。（○はひとつ）



市内で得られる情報（質・量・スピード）に満足しているかについて、「満足している」9.3%と「まあ満足している」64.1%を合わせた『満足している』は73.4%と7割を超えており、「あまり満足していない」12.2%と「満足していない」5.6%を合わせた『満足していない』17.8%よりも55.6ポイントと圧倒的に上回っています。

(問 22 市内で得られる情報の満足度で「3 あまり満足していない」「4 満足していない」と回答された方のみお答えください)

問 22-1 なぜそう思いますか。(自由記述)

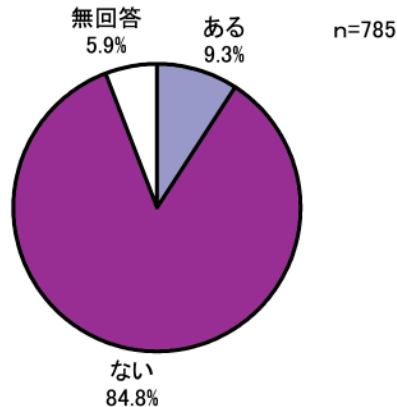


市内で得られる情報（質・量・スピード）に『満足していない』と回答した理由について「無回答」を除くと、「情報を得にくい・情報周知に工夫が欲しい」が 27.9%、「情報が少ない・少ない」が 27.1%と 2 割台後半で他の項目よりも高く、次いで「情報がわかりにくい」9.3%、「分からない」6.4%が続いています。

8

協議（話し合い）について

問23 あなたは、地域で困りごとがあった際に、地域の人と協議（話し合い）をした経験がありますか。（〇はひとつ）ある場合は、その内容も記入してください。



地域の人との協議（話し合い）経験の有無は、「ある」が9.3%、「ない」が84.8%となっており、協議経験のある割合は約1割にとどまっています。

■クロス集計：友人・知人の数、地域活動参加の有無×地域での協議経験の有無

※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

	合計	問23 地域での協議経験の有無			
		ある	ない	無回答	
全体	785 100.0	73 9.3	666 84.8	46 5.9	
問10 市内の友人・知人数	0人	78 100.0	2 2.6	74 94.9	2 2.6
	1～5人	209 100.0	11 5.3	186 89.0	12 5.7
	6～10人	121 100.0	8 6.6	101 83.5	12 9.9
	11～20人	111 100.0	11 9.9	93 83.8	7 6.3
	21～50人	138 100.0	19 13.8	112 81.2	7 5.1
	51人以上	118 100.0	21 17.8	94 79.7	3 2.5
	問12 地域活動参加の有無	ある	383 100.0	61 15.9	288 75.2
ない		377 100.0	10 2.7	356 94.4	11 2.9

市内の友人・知人の数別では、友人・知人の数が多いほど、地域での協議経験が「ある」割合が高く、反対に友人・知人が少ないほど、協議経験が「ない」割合が高くなっています。

地域活動への参加経験別では、地域活動に参加したことがある人の地域での協議経験が「ある」割合は15.9%で、地域活動参加の経験がない人の2.7%を13.2ポイント上回っており、反対に協議経験が「ない」割合は、地域活動の経験がない人が94.4%、ある人が75.2%で、地域活動の経験がない人がある人を19.2ポイント上回っています。

◆協議の内容（自由記述）

地域の人と協議した内容については以下の通りとなっています。

○ゴミの問題について

- ・ゴミ捨ての分別マナーについて
- ・ゴミ置き場の設置場所選定、場所変更
- ・ゴミ出しについて
- ・ゴミの不法投棄

○交通安全・防犯・防災関係

- ・変質者など防犯について
- ・通学路が危険な為信号機を設置した
- ・防犯灯
- ・道路ミラーの設置
- ・防災対策

○住まい・環境問題

- ・住んでいる建物で起きた問題について
- ・隣接するマンション建設について等
- ・近所に高層マンションが建ったので、日照の問題で地域の人と話し合いを持った
- ・騒音について
- ・美化について

○町会・理事会

- ・理事会
- ・町会理事会等で問題として取り上げる
- ・町会の夏祭り開催後の片付け作業での落下事故に関して、再発防止等
- ・町会内のもめ事

○動物問題について

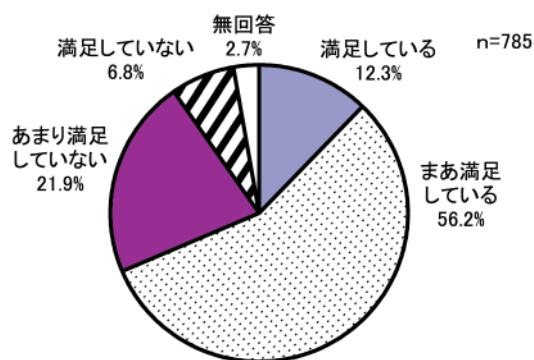
- ・ペット関係
- ・ネコの問題

○高齢者・子どもについて

- ・近所の年寄りの事で数回
- ・子ども会加入率の減少について

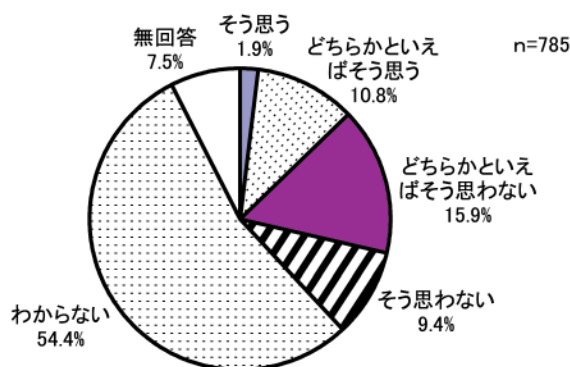
(問 23 地域での協議経験の有無で「1 ある」と回答された方のみお答えください)

問 23-1 その話し合いの過程・結果は満足のものでしたか。(〇はひとつ)



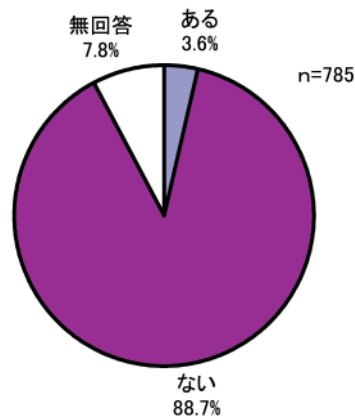
地域の人と協議（話し合い）経験があると回答した人の協議の満足度について、「満足している」12.3%と「まあ満足している」56.2%を合わせた『満足している』は68.5%と6割を超えており、「あまり満足していない」21.9%と「満足していない」6.8%を合わせた『満足していない』28.7%を39.8ポイント大きく上回っています。

問 24 あなたは、戸田市において市民同士での協議（話し合い）が十分にされていると思いますか。(〇はひとつ)



市民同士での協議（話し合い）が十分にされていると思うかについて、「そう思う」1.9%と「どちらかといえばそう思う」10.8%を合わせた『十分されていると思う』は12.7%、「どちらかといえばそう思わない」15.9%と「そう思わない」9.4%を合わせた『十分されているとは思わない』は25.3%と、『十分されているとは思わない』が『十分されていると思う』を12.6ポイント上回っています。また、「わからない」は54.4%と5割を超えて他の項目より最も高くなっています。

問 25 あなたは、市民として行政との協議（話し合い）を経験したことがありますか。
（○はひとつ）ある場合は、その内容も記入してください。



市民として行政との協議（話し合い）経験の有無は、「ある」が 3.6%、「ない」が 88.7% となっており、協議経験のない割合が 9 割近くを占めています。

◆協議の内容（自由記述）

市民として行政と協議した内容については以下の通りとなっています。

○防災について

- ・災害等今後起こると思える内容について
- ・防災（地震）対策
- ・防災無線について

○区画整理等

- ・土地区画整理事業説明会
- ・緑川拡幅問題

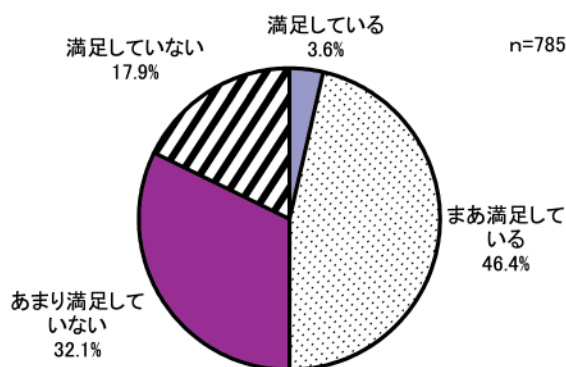
○介護施設について

○在住外国人に対する行政の取り組みについて意見交換

○一団体として行政と話し合いをした事があります

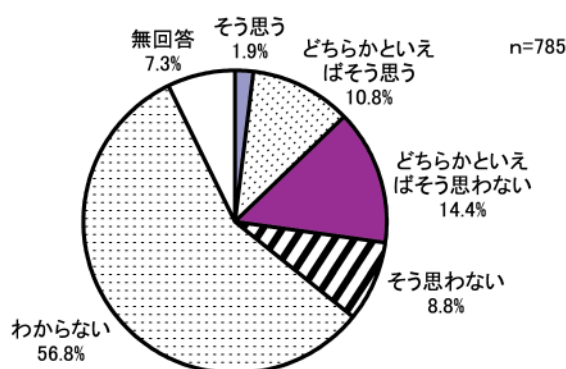
(問 25 行政との協議経験の有無で「1 ある」と回答された方のみお答えください)

問 25-1 その協議（話し合い）の過程・結果は満足のいくものでしたか。（〇はひとつ）



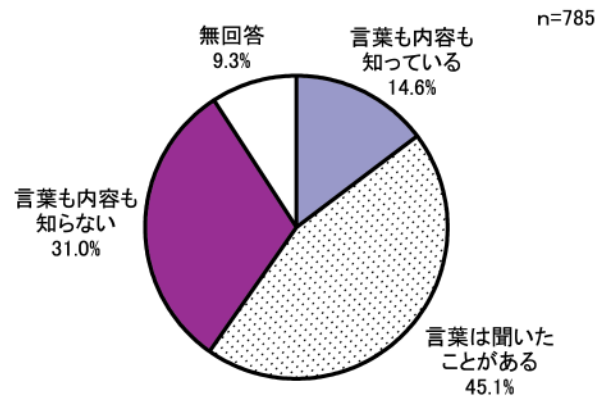
行政との協議（話し合い）経験があると回答した人の協議の満足度について、「満足している」3.6%と「まあ満足している」46.4%を合わせた『満足している』は50.0%、「あまり満足していない」32.1%と「満足していない」17.9%を合わせた『満足していない』は50.0%で、『満足している』と『満足していない』の割合はともに5割とちょうど半数を占めています。

問 26 あなたは、戸田市において市民と行政の協議（話し合い）が十分にされていると思いますか。（〇はひとつ）



市民と行政の協議（話し合い）が十分にされていると思うかについて、「そう思う」1.9%と「どちらかといえばそう思う」10.8%を合わせた『十分されていると思う』は12.7%、「どちらかといえばそう思わない」14.4%と「そう思わない」8.8%を合わせた『十分されていない』は23.2%と、『十分されていると思う』を10.5ポイント上回っています。また、「わからない」は56.8%と5割を超えて他の項目より最も高くなっています。

問 27 あなたは「戸田市民憲章」を知っていますか。(〇はひとつ)



「戸田市民憲章」の認知状況は、「言葉も内容も知っている」が14.6%、「言葉は聞いたことがある」が45.1%と最も高くなっており、「言葉も内容も知らない」は31.0%と3割を占めています。

問 28 協働のまちづくりに関して、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

※回答は誤字、脱字を修正のうえ、「戸田市自治基本条例」における4つの原則（協働、参加・参画、情報共有、協議）に関係する内容のみ抜粋しております。また、一部要約している部分もありますのであらかじめご了承ください。

◆協働について

- 生活しやすい地にする為に、まず自分の周りから見直して、何事も全ての人々が参加でき、また参加するようにすることが重要だと思います。協働の意味を十分に理解していくことを願います。
- 考えはとても良いと思います。提案だけでなく、動き始めるまでは、市が中心に提起して行ってほしいです。仕事で忙しいと、関わりたくてもそこまで時間がつくれぬ人がほとんどではないかと思えます。
- 企業連携等、もっと進めて欲しいです。ポート部関連の大学等、もう少し地域と連携して盛り上げる活動をして欲しいと思えます。
- 人口は減少に転じるとともに超高齢化社会。協働のまちづくりのコンセプトを絵に出来ないか、と思えます。
- 市民憲章は、住みはじめてから非常に共感を持っています。協働のまちづくりの基本はこの精神であり、安全・安心な生活が営めるまちに展開・発展していくことを希求します。
- 人口が増えているからこそ行政の側からも協働のまちづくりを呼びかけていく必要があると思えます。大型マンションなど、市外からの転入の多いエリアは、隣近所に無関心になりがちだが、近所とのつながりや地元意識を住民が持つことは大切だと思います。
- 戸田市は子育て支援や施設がしっかりしていますが、新しくできる時には、子供の安全や遊び方を知り尽くしている母親、または育児経験者をスタッフとして参画させた方が良いでしょう。
- 役所は待つ行政ではなく、常に参加する事のない人にも寄り添っていく姿勢であって欲しいです。
- 地域に密着した職員もしくは議員を多く持ち、コミュニケーションを図る必要があると思えます。
- 市役所の職員の対応は誠意が感じられないことがあり、そういうところから変えていかないと大きな力にはならないのではないのでしょうか。
- 「協働」という言葉の中で市民が一番目だが、実際は三番目の扱いなのでは？と感じます。
- 協働という言葉の前に、地域が隔たりをなくし、昔から住んでいる人も新しく入ってきた人も同じ市民だという認識を持つことが先ではないのでしょうか。

◆参加・参画について

- 市民ボランティアやNPOに関心を持ちたいと思います。
- これから少しずつ参加・参画できるよう、努力したいと思います。
- 戸田に住みはじめて4年が過ぎましたが、まだまだ戸田市を知ることはできずにおります。少しずついろいろなことに参加していけるようにしていきたいと思います。
- 暮らし始めてまだ日が浅いですが、戸田市での地域活動の多さに驚いています。戸田市がより良いまちになるよう、これからは、情報を得た際は進んで活動に参加したいです。
- 子育て中であり、あまり地域活動に積極的に参加できる生活環境ではないのですが、子供と一緒に参加できるイベントには予定が合えば参加したいと思っています。
- これまで市の行事にも参加してきませんでしたが、やはり地域との繋がりも大事なので、今後は少し関心を持つようにします。
- 仕事を定年する前に地域の活動に参加していきたいと考えています。
- 定年退職したら、体力をつけて、ファミリーサポートセンターの登録や読みきかせボランティア、緑のおばさんをやってみたいと思っています。
- 72歳。これからどのようにして、市にもかわり、自分自身どう生活したらいいか、もっと公民館なども利用して楽しく住みたいと思います。
- 子育てを終えた主婦達が活躍できる何か、“自分もお役に立てて居るんだ！”と思えるような場所を与えて頂けると嬉しいと思います。
- 私達の生活は大変便利になってきましたが、小さな商店が次々と消えていき、人間関係も希薄になっていくようです。これからは、あたたかく幸せなまちづくりを考えていかなければと思っています。
- 学生が使用できたり、活躍できたりするような場を作ってほしいです。
- 高齢者が気兼ねなく集まっておしゃべりしたりお茶を飲んだりできるところがたくさんほしいです。
- 高齢になってから市民の一員となったためか、少し疎外感がありなじめない気がして残念です。
- 現状、自宅は休むだけの場所なので今はまだ地域とのつながりを感じる事が出来ません。
- 平日（月～土）の朝早くから夜の7時～8時あたりまで仕事をしていると、とにかく参加する時間もなく、いざ参加したとしても広い地域の人達には面識もないので、意見も出せません。
- いろいろなことを企画してやっていただいているが、やっているのはごくごく一部の方であり、市民一丸となるような事が無いと思います。
- 転入してくる人が多く、昔から住んでいる人と新しく転入してくる人の間に溝がある気がします。人の増加に地域のコミュニティーづくりが追いついていないと思います。老人・子供・若い人が世代を越えて参加できる機会を作ってみても良いのではないのでしょうか。

◆情報共有について

- 転入者に戸田市の地図を配布してはどうでしょうか。お茶の間やキッチンに地図を張っておけば、家族みんなで楽しめますし、視覚的情報もすぐに得られます。
- ホームページが見にくく、情報が見つけにくいので、これを改善するだけでもまちづくりに役立つのではないのでしょうか。
- 時間が出来たら積極的に情報を共有したいと思います。
- 自治基本条例そのものを知りませんでした。まずは広く知らせていく事も必要かと思えます。市民がどういう形で協力していけるのか、どういう形で進めていくのか、その情報発信も希望します。
- 地域の世話人等について、何か分かる方法で周知してほしいです。相談があった場合、申告する場所も分かりません。特にマンションに対する周知はあまりされていないように感じます。
- 情報量を増やして、いろいろなところで情報を展開していただきたいと思えます。
- 駅を利用していますが、大きな、見やすい、液晶の掲示板で、常に情報が流れていたりしたら目にとまると思えます。
- 駅近くに情報を受けとれる場を作って欲しいです。
- 広報誌に目を通していても、今回のアンケートの内容にあるような事について、自分が思ったより関心がなかった事が分かりました。でも、今後もあまり変わらないような気がします。
- まちの情報で知りたいことも分からないことが結構あります。あまり市民に向かって開かれた行政というイメージが感じられません。
- 戸田に住みはじめて1年半なので、まだ知らない事が多いです。自主的に掲示板を見たり、駅で広報誌をもらったりしないと、情報がなかなか入ってこないのもっと目に触れやすくなると良いかなと思えます。
- 今、戸田市の問題や課題は何でしょうか、それすらも分かりません。

◆協議について

- 協議する場はあると思えます。
- 行政や市会議員等に、一般市民からも意見・希望を言える機会が、もっと分かりやすく参加しやすい形であるとよいと思えます。
- 戸田市は、他より移住してきた住民が多いため、近所とのコミュニケーションが取りづらいように思えます。行政が先導してコミュニケーションづくりの機会を提供してくれればと思えます。

協働のまちづくりに関する 市民意識調査

調査ご協力をお願い

日頃から市政への御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、戸田市では平成26年7月に、市民・議会・行政の3者が協力してまちづくりを進めるためのルールである「戸田市自治基本条例」（詳細は5ページをご参照ください）を制定しました。

今後は本条例の理念を広く市内に広め、協働のまちづくりを進めていく予定です。

そこで、皆様の協働に対する認識や地域への愛着といった実態を把握するとともに、課題や要望を把握し、支援に向けた参考とさせていただきたく意識調査を実施することといたしました。

この意識調査は、平成27年10月1日現在、市内にお住いの16歳以上の2,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

なお、この調査の結果は、統計的に処理し、今後の支援策等を検討する資料としてのみ活用するため、個々の回答内容や個人情報公表されることは一切ございません。

お忙しいこととは存じますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

平成27年11月

戸田市長 神保 国男

【ご記入に際してのお願い】

1. 回答は、必ず宛名の方ご自身についてご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号あるいは考え方に近い番号を○で囲んで下さい。
3. 回答する○の数は設問によって異なります。()内のことわり書きに従ってご記入ください。

ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**平成27年11月30日（月）**までに、ポストに投函して下さい。

※調査票・返信用封筒には、住所・氏名を記入する必要はありません。

※記入上のご不明な点、この調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。



【お問合せ先】

戸田市市民生活部協働推進課 協働推進担当

TEL：048-441-1800（内線651）

FAX：048-433-2200

あなたご自身についておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢(平成27年11月1日現在)をお答えください。(○はひとつ)

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 |
| 5 50代 | 6 60代 | 7 70歳以上 | |

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○はひとつ)

- | |
|-------------------------------|
| 1 下戸田地区(喜沢、喜沢南、中町、下戸田、下前、川岸) |
| 2 上戸田地区(上戸田、大字上戸田、本町、南町、戸田公園) |
| 3 新曽地区(大字新曽、新曽南、氷川町、大字下笹目) |
| 4 笹目地区(笹目、早瀬、笹目南町、笹目北町) |
| 5 美女木地区(美女木、大字美女木、美女木東) |

問4 あなたは戸田市に住んで何年になりますか。(○はひとつ)

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上5年未満 | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上 | |

問5 あなたのお住まいの種類をお答えください。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 持ち家(戸建て) | 2 持ち家(マンションなど集合住宅) |
| 3 借家(戸建て) | 4 借家(マンションなど集合住宅) |
| 5 社宅・寮 | 6 公営住宅 |
| 7 その他(_____) | |

問6 あなたのご職業をお答えください。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 フルタイム(常勤)の正社員 | 2 派遣・契約・嘱託社員 |
| 3 パートタイム・アルバイト | 4 自営業主・個人事業主 |
| 5 家族従事者 | 6 会社経営・役員 |
| 7 家事従事者 | 8 学生 |
| 9 無職 | 10 その他(_____) |



戸田市ボランティア・市民活動支援センター TOMATO
イメージキャラクター トマピー

地域への愛着についておたずねします

問7 あなたが戸田市に移転した主なきっかけをお答えください。(〇はひとつ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 生まれてからずっと戸田市 | 2 戸田市に住みたかったから |
| 3 進学 | 4 就職・転勤 |
| 5 結婚 | 6 出産 |
| 7 子どもの独立 | 8 退職・廃業 |
| 9 親や子と同居・近隣に住むため | 10 住宅の購入 |
| 11 特になし | |
| 12 その他 (.....) | |

問8 あなたが戸田市に住もうと思った主な理由をお答えください。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 戸田市で育ったから | 2 良い住まいが見つかったから |
| 3 親戚や友人がいたから | 4 住みやすそうだったから |
| 5 戸田市が好きだから | 6 戸田市内で働いているから |
| 7 特になし | |
| 8 その他 (.....) | |

問9 あなたはこれからも戸田市に住み続けたいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|----------|------------------|-----------------|
| 1 住み続けたい | 2 どちらかといえば住み続けたい | 3 どちらかといえば移転したい |
| 4 移転したい | 5 わからない | |

問10 あなたは戸田市内に友人・知人がどれくらいいますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 0人 | 2 1～5人 | 3 6～10人 |
| 4 11～20人 | 5 21～50人 | 6 51人以上 |

問11 問10であげた友人・知人とあなたはどのような関係ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 学生時代からの友人・知人 | 2 近所付き合いの友人・知人 |
| 3 会社や取引先など仕事の関係者 | 4 趣味等の知り合い |
| 5 地域活動*(町会、自治会等)での知り合い | 6 市民活動*(サークル、NPO等)の知り合い |
| 7 PTA等子どもを通じた知り合い | 8 SNS・インターネットを通じた知り合い |
| 9 戸田市内に友人・知人がいない | |
| 10 その他 (.....) | |

※「地域活動」「市民活動」については、次のページからの説明をご参照ください。

地域活動についておたずねします

地域活動とは？

一定の区域を活動場所とした、地域でつながっている団体の活動です。

例) 町会や子ども会など



問 12 あなたは地域活動に参加したことがありますか。(○はひとつ)

1 ある ⇒ 問 12-1~12-4 へ 2 ない ⇒ 問 12-5~12-6 へ

(問 12 で「1 ある」と回答された方のみお答えください)

▶ 問 12-1 あなたが参加したことがある地域活動の分野をお答えください。

(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|-----------------|-------------|
| 1 町会・自治会 | 2 子ども会 | 3 PTA |
| 4 老人クラブ | 5 消防団 | 6 民生委員・児童委員 |
| 7 交通安全・防犯 | 8 その他 (_____) | |

▶ 問 12-2 あなたはどのくらいの頻度で地域活動に参加していますか (していましたか)。

(○はひとつ)

- | | | |
|--------|------------|-----------------|
| 1 年に数回 | 2 月に 1 回程度 | 3 月に数回 |
| 4 週に数回 | 5 ほとんど毎日 | 6 その他 (_____) |

▶ 問 12-3 あなたが地域活動に参加した理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 地域や公共の課題に取り組むため | 2 活動内容に興味を持ったため |
| 3 自分の知識や経験を生かせると思ったため | 4 様々な人と交流するため |
| 5 友人・知人に誘われたため | 6 時間の都合が合ったため |
| 7 順番が回ってきたため (輪番制のため) | |
| 8 その他 (_____) | |

▶ 問 12-4 これからも地域活動を続けたいですか。(○はひとつ)

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 1 続けたい | 2 できれば続けたい | 3 あまり続けたくない |
| 4 続けたくない | 5 今はもう活動していない | |

(問 12 で「2 ない」と回答された方のみお答えください)

▶ 問 12-5 あなたが地域活動に参加しない理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 活動自体を知らないため (情報がなかったため) | 2 活動内容に興味がないため |
| 3 参加の仕方がわからないため | 4 活動に貢献できる自信がないため |
| 5 人と関わるのが苦手 (嫌い) なため | 6 活動している知り合いがないため |
| 7 時間に余裕がないため | 8 特に理由はない |
| 9 その他 (_____) | |

▶ 問 12-6 今後、地域活動に参加したいと思いますか

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 参加したい | 2 できれば参加したい |
| 3 あまり参加したくない | 4 参加したくない |

市民活動についておたずねします

市民活動とは？

共通の目的でつながっている団体の公益性のある活動で、営利を目的としないものです。
例) サークルやNPO など

問 13 あなたは市民活動に参加したことがありますか。(○はひとつ)

1 ある⇒問 13-1～13-4へ 2 ない⇒問 13-5～13-6へ

(問 13 で「1 ある」と回答された方のみお答えください)

▶ 問 13-1 あなたが参加したことの市民活動の分野をお答えください。

(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1 保健・医療 | 2 高齢者支援 | 3 障害者支援 |
| 4 生涯学習活動 | 5 スポーツ活動 | 6 文化・芸術活動 |
| 7 環境保護活動 | 8 観光・経済活動 | 9 子育てに関する活動 |
| 10 青少年の健全育成 | 11 男女共同参画 | 12 国際交流 |
| 13 教育に関する活動 | 14 その他() | |

▶ 問 13-2 あなたはどのくらいの頻度で市民活動に参加していますか(していましたか)。

(○はひとつ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 年に数回 | 2 月に1回程度 | 3 月に数回 |
| 4 週に数回 | 5 ほとんど毎日 | 6 その他() |

▶ 問 13-3 あなたが市民活動に参加した理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 地域や公共の課題に取り組むため | 2 活動内容に興味を持ったため |
| 3 自分の知識や経験を生かせると思ったため | 4 様々な人と交流するため |
| 5 友人・知人に誘われたため | 6 時間の都合がよかったため |
| 7 家族(子ども)のため | |
| 8 その他() | |

▶ 問 13-4 これからも市民活動を続けたいですか(○はひとつ)

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 1 続けたい | 2 できれば続けたい | 3 あまり続けたくない |
| 4 続けたくない | 5 今はもう活動していない | |

(問 13 で「2 ない」と回答された方のみお答えください)

▶ 問 13-5 あなたが市民活動に参加しない理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 活動自体を知らないため(情報がなかったため) | 2 活動内容に興味がないため |
| 3 参加の仕方がわからないため | 4 活動に貢献できる自信がないため |
| 5 人と関わるのが苦手(嫌い)なため | 6 活動している知り合いがないため |
| 7 時間に余裕がないため | 8 特に理由はない |
| 9 その他() | |

▶ 問 13-6 今後、市民活動に参加したいと思いませんか

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 参加したい | 2 できれば参加したい |
| 3 あまり参加したくない | 4 参加したくない |

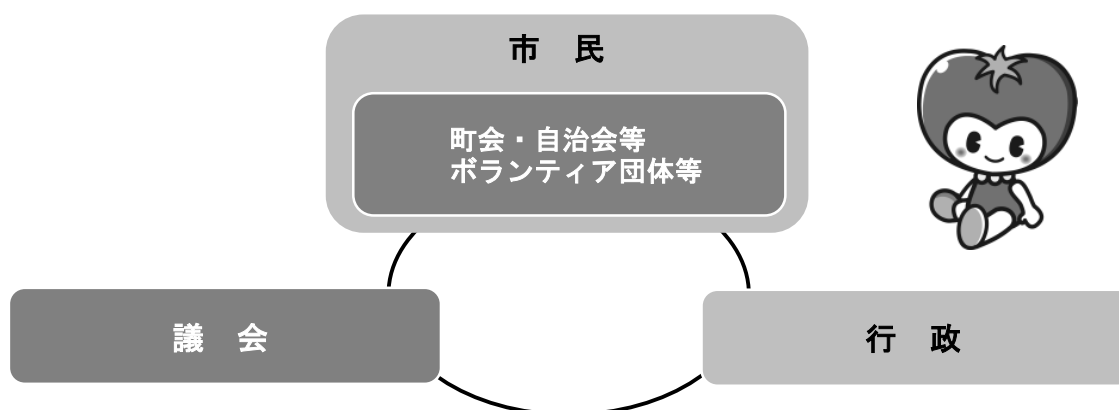
「戸田市自治基本条例」についておたずねします

「戸田市自治基本条例」とは？

- 平成26年7月に施行された、市民・議会・行政の3者が協力してまちづくりを行うための基本的な考え方やルールを定めたものです。
- まちづくりにおいて重要と考える4項目、「協働の原則」「参加・参画の原則」「情報共有の原則」「協議の原則」を基本原則とし、その主体となる市民・議会・行政の3者が、それぞれの役割を果たしながらまちづくりを進めていきます。

URL: <http://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/192/kikaku-jitikihon-top.html>

「戸田市自治基本条例」で検索



まちづくりとは？ 市民・議会・行政が理想のまちを実現するための取り組みをいいます。

問 14 あなたは「戸田市自治基本条例」を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 条例名も内容も知っている | 2 条例名は聞いたことがある |
| 3 条例名も内容も知らない | |

問 15 市民のくらしを豊かにするうえで、「戸田市自治基本条例」の考え方は重要だと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 とても重要だと思う | 2 まあまあ重要だと思う |
| 3 あまり重要だとは思わない | 4 重要だとは思わない |

協働についておたずねします

協働とは？

「戸田市自治基本条例」の取組を進めていく際に非常に重要となる考えです。「協働」には、市民・議会・行政それぞれの役割に基づく活動や、話し合いの場での意見交換のように、それぞれの段階で様々な形があるため、「戸田市自治基本条例」では明確な定義づけはしていません。しかし、市民・議会・行政それぞれが得意分野で力を発揮し、互いを尊重する「協働」をまちづくりにおける重要な概念としています。



問 16 あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 言葉も意味も知っている | 2 言葉は聞いたことがある |
| 3 言葉も意味も知らない | |

問 17 あなたは、協働のまちづくりを進めるために市民ができることはなんだと思いますか。
(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 地域活動・市民活動への積極的な参加 |
| 2 地域の交流を深め、助け合える関係をつくる |
| 3 市民同士の連携によって、地域課題を自分たちで解決する意識を持つ |
| 4 地域活動・市民活動をまちづくりの担い手と認識し、その行動を尊重する |
| 5 市政に対する積極的な参加・提言 |
| 6 地域活動・市民活動にかかわる人材の育成 |
| 7 まちづくりの一員としての意識を持つ |
| 8 その他 (_____) |

問 18 あなたは、協働のまちづくりを進めるために行政がすべきことはなんだと思いますか。
(○は3つまで)

- | |
|------------------------------|
| 1 市民と行政が対話しやすい環境づくり |
| 2 市民への情報提供・市民との情報共有 |
| 3 市民がまちづくりに参画できる機会を提供する |
| 4 市民同士または市民と行政が協議できる場をつくる |
| 5 市民(団体)の活動や交流をしやすくするための場づくり |
| 6 地域活動・市民活動への助言・助力 |
| 7 企業や事業所等ともしっかり連携する |
| 8 まちづくりのための金銭的援助 |
| 9 その他 (_____) |

参加・参画についておたずねします

参加とは？

すでに企画され、実施しているものに加わることです。

例) 市のイベントに参加する



参画とは？

企画段階、計画段階から加わることです。

例) 市のイベントに計画段階から関わり、企画・運営に携わる

問 19 行政が行っている以下の事業や取り組みの中で、あなたが参加または参画したことがあるものをお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 イベント・祭りへの参加 | 2 講座・教室・講演会への参加 |
| 3 選挙での投票 | 4 議会・会議の傍聴 |
| 5 人材バンク等*への登録 | 6 パブリックコメント・市民の声 |
| 7 会議・委員会への出席 | 8 イベント・講座等への参画 |
| 9 その他 (.....) | |
| 10 参加・参画したことがない | |

※人材バンク等：「女性人材リスト」や「戸田人材の森」など、市内で様々な知識や技能などを持っている方が、その知識や技能を地域で活かすために登録するもの。

問 20 あなたは、市が行っている事業や取り組みに参加または参画しやすいと感じていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 感じている | 2 やや感じている |
| 3 あまり感じていない | 4 感じていない |

(問 20 で「3 あまり感じていない」「4 感じていない」と回答された方のみお答えください)

問 20-1 なぜそう思いますか。

情報共有についておたずねします

問 21 あなたは、市内の情報（行政に限らず）をどのように入手することが多いですか。

（○は3つまで）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 町会・自治会を通じた回覧板、掲示板 | 2 チラシ・ポスター |
| 3 広報戸田市 | 4 市のホームページ |
| 5 facebook | 6 twitter |
| 7 toco ぶり* | 8 その他 SNS・インターネット |
| 9 新聞・雑誌 | 10 テレビ・ラジオ |
| 11 友人・知人からの口コミ | 12 地域の集まり |
| 13 その他（.....） | |

※toco ぶり：戸田市のまちの情報を気軽に集めたりお知らせしたりすることができる戸田市公式スマートフォンアプリ

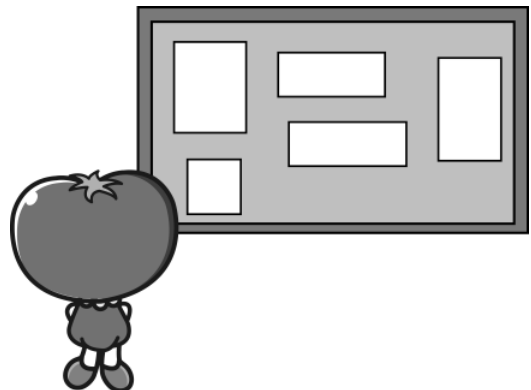
問 22 あなたは、市内で得られる情報（質・量・スピード）に満足していますか。

（○はひとつ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1 満足している | 2 まあ満足している |
| 3 あまり満足していない | 4 満足していない |

問 22 で「3 あまり満足していない」「4 満足していない」と回答された方のみお答えください

問 22-1 なぜそう思いますか。



協議（話し合い）についておたずねします

「協議（話し合い）」とは？

課題や問題を解決するために話し合うこと。

その際、主張するだけでなく、お互いを認め合ったうえで話し合うことが必要となります。

例）様々な立場の人が集まった話し合い、一つの問題をもとにした意見交換

問 23 あなたは、地域で困りごとがあった際に、地域の人と協議（話し合い）をした経験がありますか。（○はひとつ）ある場合は、その内容も記入してください。

- | |
|-----------------|
| 1 ある(内容: _____) |
| 2 ない ⇒ 問 24 へ |

(問 23 で「1 ある」と回答された方のみお答えください)

問 23-1 その話し合いの過程・結果は満足 of いくものでしたか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1 満足している | 2 まあ満足している |
| 3 あまり満足していない | 4 満足していない |

問 24 あなたは、戸田市において市民同士での協議（話し合い）が十分にされていると思いますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 25 あなたは、市民として行政との協議（話し合い）を経験したことがありますか。（○はひとつ）

ある場合は、その内容も記入してください。

- | |
|-----------------|
| 1 ある(内容: _____) |
| 2 ない ⇒ 問 26 へ |

(問 25 で「1 ある」と回答された方のみ お答えください)

問 25-1 その協議（話し合い）の過程・結果は満足 of いくものでしたか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1 満足している | 2 まあ満足している |
| 3 あまり満足していない | 4 満足していない |

問 26 あなたは、戸田市において市民と行政の協議（話し合い）が十分にされていると思いますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

その他


問 27 あなたは「戸田市民憲章」を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 言葉も内容も知っている | 3 言葉も内容も知らない |
| 2 言葉は聞いたことがある | |

と だ し みんけんしやう
戸田市民憲章

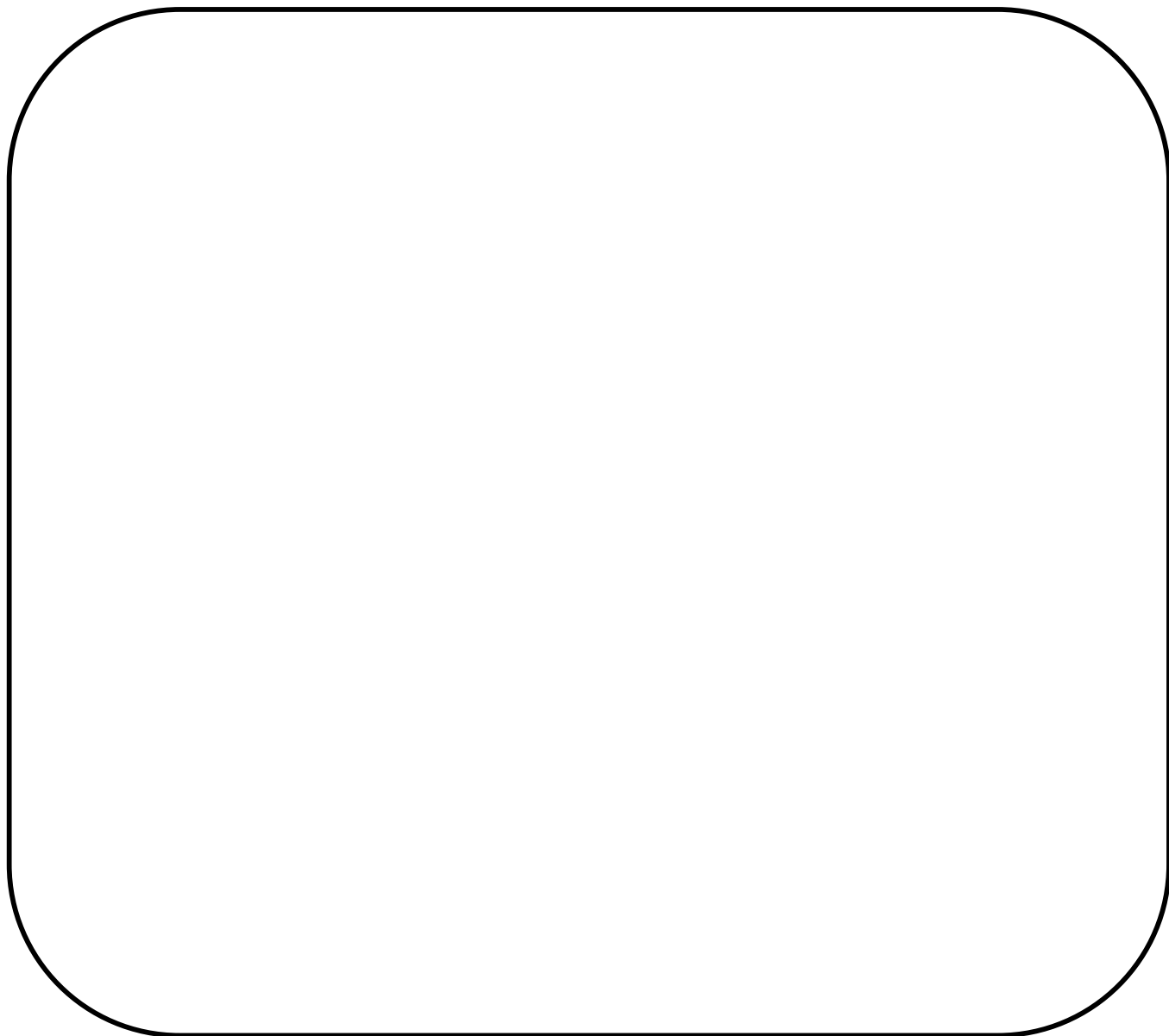
わたくしたちは、豊かな荒川の流れと、
うるわしい武蔵野の大地をふるさととする戸田市民です。
わたくしたちは、このまちに誇りと責任をもち、
夢と希望のある戸田市をつくるため、この憲章をさだめます。
わたくしたち戸田市民は

- ① 心をみがき、
体をきたえましょう
- ② 明るくうるおいのある
家庭をつくりましょう
- ③ 話し合い、助け合いの
輪をひろげましょう
- ④ 自然をまもり、
すみよい環境をつくりましょう
- ⑤ 教養と文化をたかめ、
みゆきを未来にのこしましょう



昭和五十四年十一月三日 制定

問 28 協働のまちづくりに関して、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



ご協力いただき、ありがとうございました。

**協働のまちづくりに関する市民意識調査
調査報告書**

平成 28 年 2 月

編 集：戸田市 市民生活部 協働推進課

〒335-8588 戸田市上戸田 1 丁目 18 番 1 号
TEL 048-441-1800 (内線 651)
FAX 048-433-2200